

## 三菱電機空調冷熱総合管理システム [業務用]

形名

EW-50J

### 据付工事説明書 (販売店・工事店様用)

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 使用部品	8
2. 使用箇所 (据付工事の概要)	15
3. 据付場所の選定	17
4. 据付工事	20
5. 電気工事	24
6. 据付工事後の確認	35
7. 試運転	36
8. お客様への説明	44
9. 法令関連の表示	54

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
- ご使用前に、この据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「据付工事説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書をお渡しください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.



# もくじ

	ページ		ページ
安全のために必ず守ること	4	6. 据付工事後の確認	35
1. 使用部品	8	6-1. 配線の確認事項	35
1-1. 同梱部品	8	6-2. 初期設定前の確認事項	35
1-2. 別売部品	9	7. 試運転	36
1-3. 一般市販部品	9	7-1. ソフトウェアのアップデート	36
1-4. 製品の概要	11	7-1-1. 事前準備	37
1-4-1. 製品本体の外形 (各部の名称)	11	7-1-2. 作業手順	39
1-4-2. 製品仕様	13	7-2. ソフトウェア詳細確認手順	40
1-5. SDカードに関するお願い	14	7-3. 初期設定 (ネットワーク設定)	41
1-6. 製品本体の運搬と開梱	14	7-4. 初期設定 (その他の設定)	41
2. 使用箇所 (据付工事の概要)	15	7-5. 初期設定 (IP アドレス (LAN1) の 簡易設定)	42
2-1. 使用部品の取付位置	15	7-6. 試運転の準備	43
2-1-1. L字金具を使用して取付ける場合	15	7-7. 試運転の方法	43
2-1-2. DIN レールを使用して取付ける 場合	16	8. お客様への説明	44
2-2. 従来工事方法との相違	16	8-1. 各部のなまえ (お客様用)	44
3. 据付場所の選定	17	8-2. ご使用の前に (お客様用)	44
3-1. 法規制・条例の遵守事項	17	8-2-1. はじめに	44
3-2. 公害・環境汚染への配慮事項	17	8-2-2. ライセンスについて	44
3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項	17	8-3. 使いかた (お客様用)	44
3-4. 取付寸法	18	8-4. 定期点検のお願い (お客様用)	44
3-4-1. EW-50J の外形寸法	18	8-5. 移設について	45
3-4-2. EW-50J の必要スペース	19	8-6. メンテナンス	45
3-5. 保守・点検に関する事項	19	8-6-1. 設定データバックアップ/ 設定データ読み込み	45
4. 据付工事	20	8-6-2. 統合管理ブラウザの場合	45
4-1. 建物工事の進行と施工内容	20	8-6-3. 初期設定用 Web ブラウザの場合 (Ver.7.69 以前のみ)	47
4-1-1. L字金具を使用して制御盤面に 取付ける場合	21	8-7. 据付工事の確認と試運転 (お客様用)	49
4-1-2. DIN レールアタッチメントを 使用して制御盤内に取付ける場合	22	8-8. 仕様 (お客様用)	49
4-1-3. DIN レールから本機を取外す場合	23	8-9. 修理を依頼する前に (お客様用)	50
4-2. 諸官庁および関連部門への 届出・報告事項	23	8-10. 保証とアフターサービス (お客様用)	51
5. 電気工事	24	8-10-1. 保証について	51
5-1. サービスカバーの取外し/取付け	25	8-10-2. 補修用性能部品の保有期間	51
5-2. AC 電源線と M-NET 伝送線	26	8-10-3. 修理を依頼されるときは (出張修理)	51
5-2-1. AC 電源線・保護用アース線の 接続方法	26	8-10-4. お問い合わせ	52
5-2-2. M-NET 集中管理用伝送線の 接続方法	27	8-11. 環境関連の表示 (お客様用)	52
5-2-3. 配線の固定方法	27	8-12. 商標、登録商標について	53
5-3. ネットワーク接続配線	28	9. 法令関連の表示	54
5-3-1. LAN ケーブルの接続方法	28	9-1. 標準的な使用条件	54
5-3-2. 周辺機器との接続方法	28	9-1-1. 使用範囲	54
5-3-3. 伝送遅延時間の確認	29	9-1-2. 使用条件・環境	54
5-4. 外部機器の配線	30	9-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の 交換周期目安	54
5-4-1. 外部入力	30		
5-4-2. 外部出力	32		
5-4-3. 計量用パルス入力	33		

# 安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しく下さい。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しく下さい。



## 警告

第一種電気工事士が電気工事を行うこと。(第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可)

### 一般事項



## 警告

以下の特殊な環境にコントローラを据え付けないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ

据付禁止

◆電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災のおそれあり。



据付禁止

改造はしないこと。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。

禁止



禁止

コントローラの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止



禁止

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。

禁止



禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆火傷・感電のおそれあり。

接触禁止



接触禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止



水ぬれ禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- ◆薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

指示を  
実行



指示を  
実行

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って試運転・点検・サービスを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、故障・けが・感電・火災のおそれあり。



コントローラのカバーを取り付けること。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



病院など医療機関に据付ける場合はノイズ対策を行うこと。

- ◆ ノイズが医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げるおそれあり。



## 注意

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆ 感電・故障のおそれあり。



電気部品を触る場合は、保護具を身に付けること。

- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



部品端面に触れないこと。

- ◆ けが・感電・故障のおそれあり。



作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



ノックアウト穴のバリに触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



コントローラの廃棄は専門業者に依頼すること。

- ◆ 環境破壊のおそれあり。



## 据付工事をするときに

## 警告

以下の場所にコントローラを設置しないこと。

- ◆ 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所
- ◆ 可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。



梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



据付工事は、販売店または専門の工事が実施すること。

- ◆ 間違った工事は、事故のおそれあり。
- ◆ お客様ご自身での工事は、事故のおそれあり。



据付工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用すること。

- ◆ 当社指定部品を使用しないと、事故のおそれあり。



地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ◆コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を  
実行

コントローラの質量に耐えられるところに据え付けること。

- ◆コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を  
実行

## 電気工事をするときに

### 警告

電源配線は信号端子台に接続しないこと。

- ◆機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。



接続禁止

製品に指定以外の電源電圧を接続しないこと。

- ◆機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。



接続禁止

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を  
実行

電気工をする前に、主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。



指示を  
実行

電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- ◆電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を  
実行

電気工事は、第一種電気工事士が以下に従って行うこと。(第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可)

- ◆電気設備に関する技術基準
- ◆内線規程
- ◆据付工事説明書

- ◆施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を  
実行

電源には過電流遮断器・漏電遮断器をユニット1台につき1個取り付けること。

- ◆感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を  
実行

以下の正しい容量の遮断器を使用すること。

- ◆漏電遮断器
- ◆ヒューズ(開閉器+B種ヒューズ)
- ◆配線用遮断器

- ◆大きな容量の遮断器を使用した場合、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を  
実行

電源配線には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- ◆漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を  
実行

D種接地(アース)工事は第一種電気工事士の資格のある電気事業者が行うこと。(第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可)

- ◆感電・ノイズによる誤動作・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



指示を  
実行

配線引込口をパテでシールすること。

- ◆露・水・虫が浸入すると、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を  
実行

## 注意

端子台に配線の切くずが入らないようにすること。

◆ショート・感電・故障のおそれあり。



コントローラ端面に配線が触れないようにすること。

◆ショート・漏電・感電・故障のおそれあり。



## 移設・修理をするときに

## 警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

◆けが・感電・火災のおそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

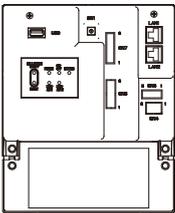
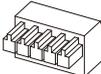
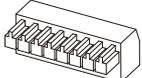
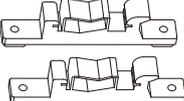
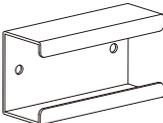
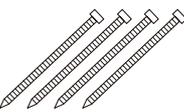
◆ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



# 1. 使用部品

## 1-1. 同梱部品

本コントローラには下記部品が同梱されています。据付前に確認してください。

No.	品名	形状	個数	備考
D-1	EW-50J (製品本体)		1	
D-2	コネクタ (CN6)		1	製品本体の表面に CN6 (未使用) コネクタを取付けています。
D-3	コネクタ (CN7)		1	製品本体の表面に CN7 (計量用パルス入力) コネクタを取付けています。
D-4	L字金具		2	製品本体を据付けるときに使用します。
D-5	DIN レールアタッチメント		2	製品本体を DIN レール (一般市販部品 S-5) に取付ける際に使用します。 35mm 幅 DIN レールに対応
D-6	DIN レール補助金具		1	製品本体を DIN レールに取付ける際に使用します。
D-7	なべねじ (M3 × 12)		4	DIN レールアタッチメントを取付ける場合に使用します。
D-8	なべねじ (M3 × 6)		4	製品本体に L 字金具を取付ける場合、または DIN レール補助金具を取付ける場合に使用します。
D-9	配線押さえ		4 (予備 2 つ含む)	
D-10	据付工事説明書 (本書) ※1※2		1	

※1 初期設定は、本書の「7-4. 初期設定 (その他の設定)」を参照してください。(操作の詳細については「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。)

※2 ライセンス機能については三菱電機 WIN<sup>2</sup>K サイトから、各機能の取扱説明書をダウンロードして、参照してください。

三菱電機 WIN<sup>2</sup>K サイト URL

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/top.do>

## 1-2. 別売部品

以下の部品は三菱電機指定の純正部品をお使いください。

No.	品名	形名	個数	備考
P-1	外部入出力アダプタ	PAC-YG10HA	1※	外部入出力機能使用時必要

※ 必要な場合のみ

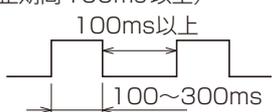
## 1-3. 一般市販部品

必要に応じて以下の一般市販部品を準備してください。

現地手配部品	No.	品名	個数	備考
接続配線	S-1	AC電源線/保護用アース線	適量	仕様は次ページ参照
	S-2	M-NET 伝送線	適量	仕様は次ページ参照
	S-3	スリーブ付き丸端子	必要数	仕様は次ページ参照
(必要に応じて) 盤内に据付ける 場合	S-4	金属製制御盤	1	
	S-5	DIN レール	適量	金属製制御盤用。仕様は次ページ参照
	S-6	DIN レール取付ねじ、M4 ねじ	必要数	
	S-7	過電流遮断器	必要数	仕様は次ページ参照
	S-8	漏電遮断器	必要数	仕様は次ページ参照
	S-9	電源線用端子台	必要数	
(必要に応じて) 外部機器を接続 する場合	S-10	M-NET 伝送線用端子台	必要数	
	S-11	外部電源 (直流電源装置)	必要数	外部入出力用。仕様は次ページ参照
	S-12	延長ケーブル	適量	外部電源用。仕様は次ページ参照
	S-13	リレー/ ダイオード付きリレー	必要数	外部入出力用。仕様は次ページ参照
	S-14	表示用ランプ	必要数	外部入出力用
	S-15	電力量計	必要数	電力量入力用。仕様は次ページ参照
(必要に応じて) 通信関連	S-16	電力量計用電線	適量	電力量入力用。仕様は次ページ参照
	S-17	パソコン	1	仕様は 「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱 説明書 統合管理ブラウザ操作編」の 「1-4. 動作環境」の項参照
	S-18	LANケーブル	適量	仕様は次ページ参照
	S-19	スイッチングHUB	必要数	仕様は次ページ参照
	S-20	VPNルータ	必要数	
	S-21	無線LANルータ	必要数	
	S-22	タブレット	必要数	仕様は 「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱 説明書 統合管理ブラウザ操作編」の 「1-4. 動作環境」の項参照
	S-23	スマートフォン	必要数	仕様は 「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱 説明書 統合管理ブラウザ操作編」の 「1-4. 動作環境」の項参照

# 1. 使用部品

## 一般市販部品の仕様

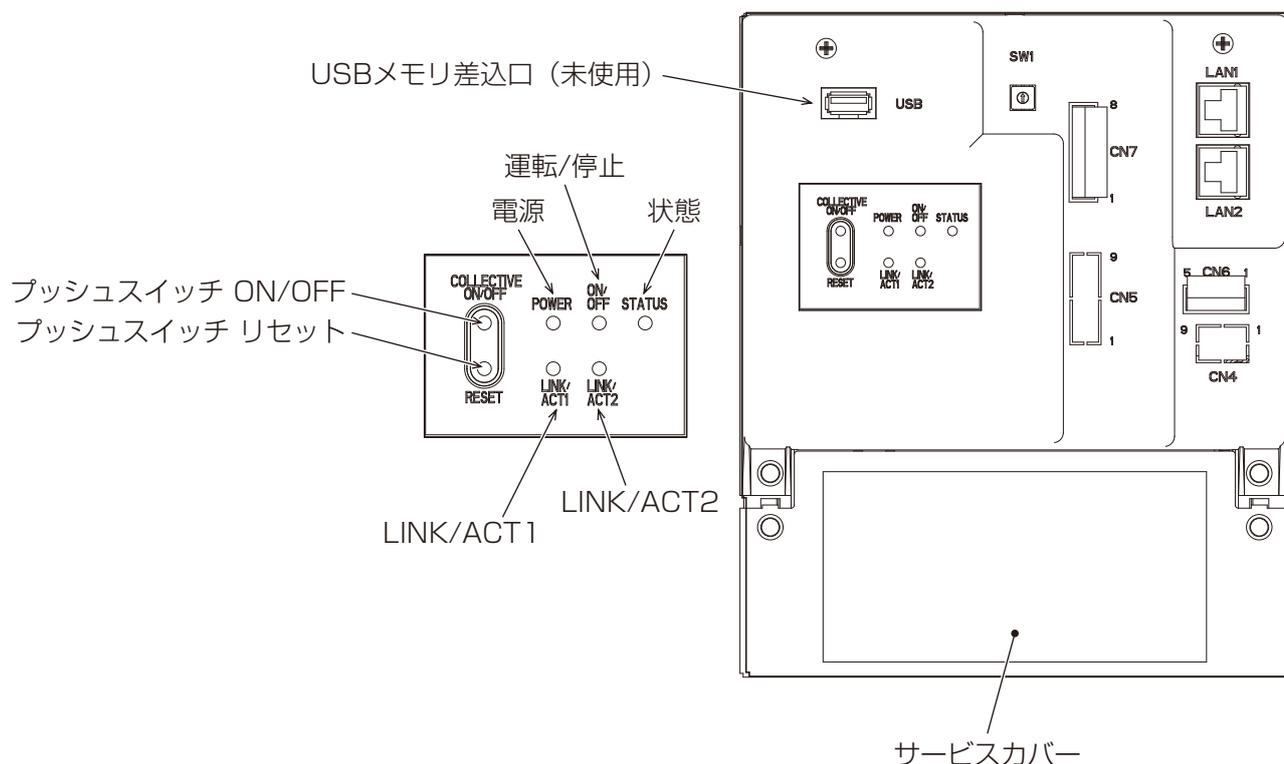
現地手配部品		No.	仕様
AC電源線/ 保護用アース線	S-1	種類：シース付ケーブル (60227 IEC 53 指定) (通常のIEC 60227 シース付ケーブルより軽量のものを使用しないでください)	
		電線の種類 (推奨)	VCT・VVF・VVRまたはこれに相当するもの
		電線サイズ	0.75～2mm <sup>2</sup> (φ 1.0～φ 1.6mm)
		線外径 10mm を推奨 (端子台の下の配線押さえに固定できる適切な線外径) 保護用アース線の配線色：緑/黄	
M-NET 伝送線	S-2	種類：シールド線	
		CPEVS 1P(ペア) φ 1.2mm	通信用PE*1絶縁PVC*1シールド線
		CVVS、MVVS 2心 1.25～2mm <sup>2</sup>	制御用PVC*1絶縁PVC*1シールド線
		種類：エコケーブル (参考)	
		EM-CPEES1P (ペア) φ 1.2mm	通信用PE*1エコケーブル*2シールド線
		EM-CEES、EM-MEES 2心 1.25～2mm <sup>2</sup>	制御用PE*1エコケーブル*2シールド線
スリーブ付き丸端子	S-3	M3.5丸端子 (AC電源線用 (L/L1、N/L2) および M-NET 伝送線用 (A、B、S)) M4丸端子 (保護用アース線用)	
DIN レール	S-5	35mm 幅 DIN レールに対応	
過電流遮断器 (右のいずれか)	ヒューズ	S-7	定格電流：3A (ヒューズ使用時は定格電流：3Aのスイッチを併用してください)
	配線用遮断器		種類：2極遮断器 (2P2E) 定格電流：3A
漏電遮断器	S-8	種類：2極遮断器 (2P2E) 定格電流：3A以上 定格感度電流：30mA 動作時間：0.1 秒以下	
外部電源 (直流電源装置)	S-11	定格電圧：DC12Vまたは24V	
延長ケーブル	S-12	電線サイズ：0.3mm <sup>2</sup> 以上	
リレー/ ダイオード付きリレー (外部入力用)	S-13	接点定格 定格電圧：DC12Vまたは24V 定格電流：10mA以上 最小適用負荷：DC1mA以下	
リレー/ ダイオード付きリレー (外部出力用)		コイル定格 定格電圧：DC12Vまたは24V 消費電力：0.9W以下	
電力量計	S-15	単位パルスごとに無電圧 a 接点パルス出力 出力パルス方式：半導体リレー パルス幅：100～300ms (休止期間 100ms以上)  出力パルス単位：0.1/1.0/10/100 [kWh/pulse] ※ 1kWh/pulse以下を推奨	
電力量計用電線	S-16	単線	φ 0.65mm (AWG21) ～φ 1.2mm (AWG16)
		撚り線	0.75mm <sup>2</sup> (AWG18) ～1.25mm <sup>2</sup> (AWG16)
		素線径φ 0.18mm以上	
LANケーブル	S-18	カテゴリ5以上のストレートケーブル (100m以内)	
スイッチングHUB	S-19	通信速度 100Mbps以上	

※1 PE：ポリエチレン、PVC：ポリ塩化ビニル

※2 エコケーブルは、シースが黒色の耐燃性ケーブルを使用してください。

## 1-4. 製品の概要

### 1-4-1. 製品本体の外形(各部の名称)



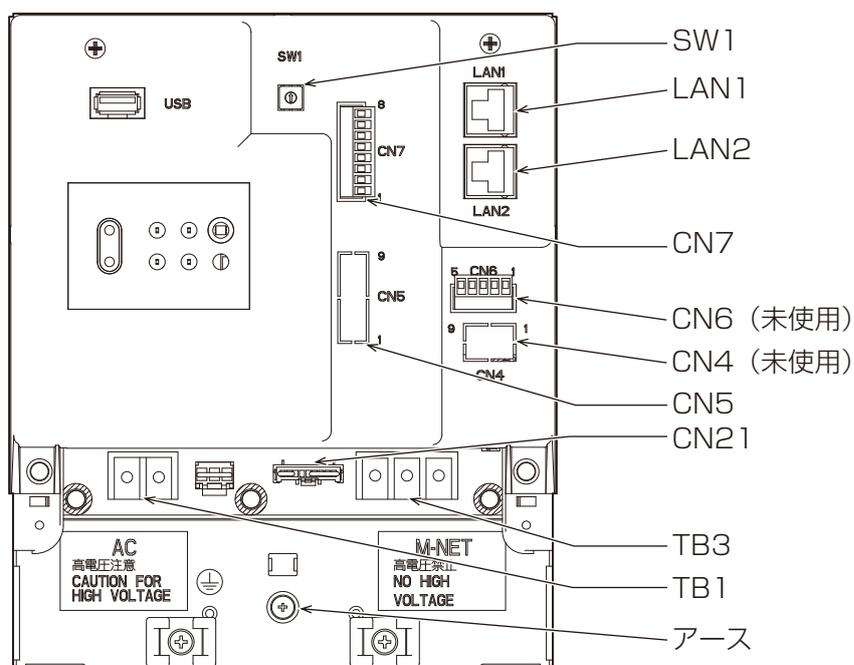
LED		内容
電源	緑点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
運転/停止	緑点灯	1台以上の空調機が運転中 ※1
	緑点滅	1台以上の空調機、空冷ヒートポンプチラーDT-R ※2およびその他の関連機器がエラー発生中
	消灯	すべての空調機が停止 ※1
状態	橙点滅	立ち上げエラー
	青点滅	ソフトウェア アップデート中
	ピンク点滅	ソフトウェア アップデート失敗
LINK/ACT1	橙点滅	データ送受信中 (LAN1)
LINK/ACT2	橙点滅	BACnet® データ送受信中 (LAN2) ※3

※1 その他の関連機器の状態は表示されません。

※2 空冷ヒートポンプチラーDT-Rを使用する場合、別途ライセンスとAE-200Jとの接続が必要です。

※3 BACnet®接続の場合、別途ライセンスが必要です。

項目	内容	
プッシュスイッチ	ON/OFF	押すごとに接続している空調機を一括でON→OFF→ON…の順に切り替えます。
	リセット	EW-50Jを再起動します。(手元リモコンがないシステムやスリム機種では、通信異常を検知して異常停止する可能性があります。)
USBメモリ差込口	未使用	



サービスカバーを取外した状態

項目	内容	
SW1	簡易 IP アドレス設定	IP アドレスの簡易設定ができます。*2
LAN1	LAN 接続	スイッチング HUB (一般市販部品 S-19) を経由して他の機器と LAN ケーブル (一般市販部品 S-18) で接続します。
LAN2	BACnet® 用 LAN 接続	スイッチング HUB を経由してビル管理システムと LAN ケーブル (BACnet®) (一般市販部品 S-18) で接続します。
CN7	計量用パルス入力 *1	本体に同梱のコネクタを用いて配線を接続します。
CN6		未使用
CN4		未使用
CN5	外部入出力 *1	ロックアウト穴をあけて外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) (別売部品 P-1) を接続します。
CN21	M-NET 給電コネクタ	M-NET に給電する場合、コネクタを接続します。(工場出荷時) ・他のシステムコントローラなどが同一の集中管理線上に接続されており、消費電力係数が6を超える場合は、コネクタを取外して給電ユニットから M-NET に給電してください。
TB3	M-NET A, B, S (M3.5)	M-NET 伝送線端子台 M-NET 伝送線 (一般市販部品 S-2) を使って室外ユニットと接続します。 (A, B : 無極性, S : シールド)
TB1	AC 電源 L/L1, N/L2 (M3.5)	AC 電源線 (一般市販部品 S-1) を接続します。
アース	(M4)	保護用アース線 (一般市販部品 S-1) を接続します。

\*1 「5-4. 外部機器の配線」を参照してください。

\*2 詳細は「7-5. 初期設定 (IP アドレス (LAN1) の簡易設定)」を参照してください。

## 1-4-2. 製品仕様

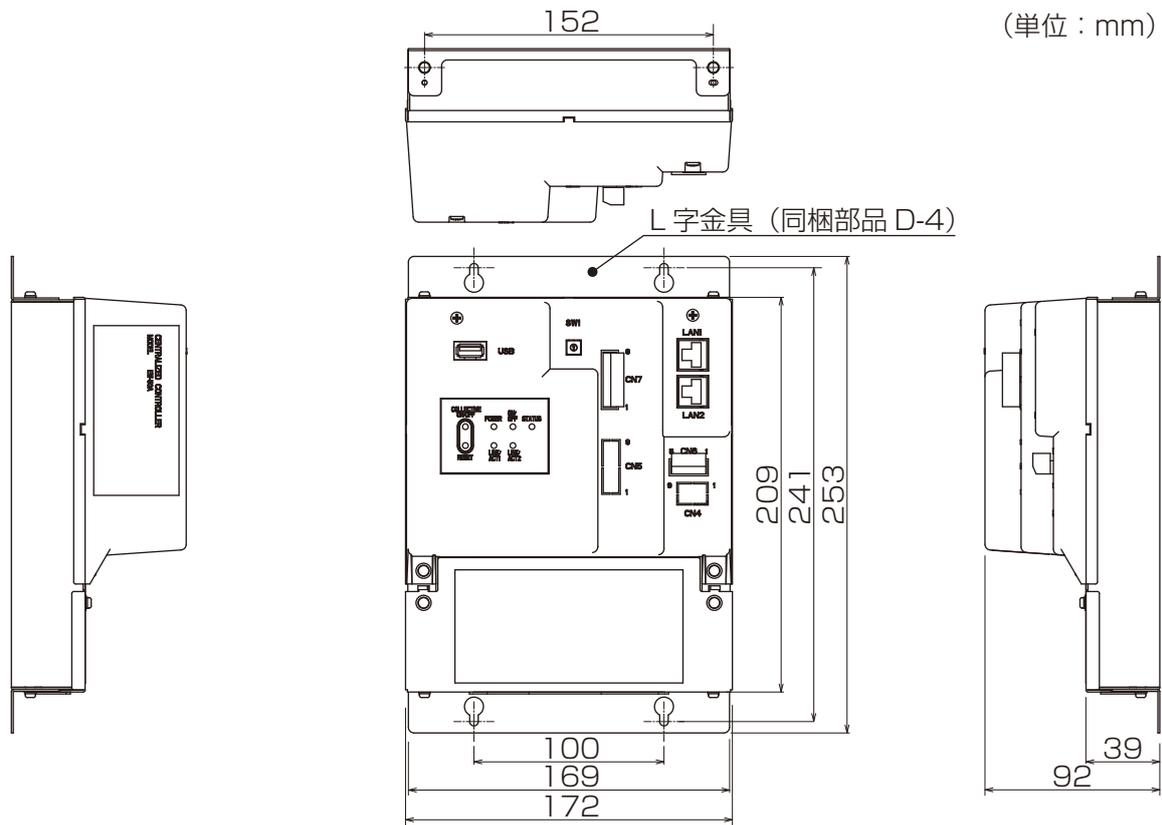
EW-50J (本機)はWeb対応の空調冷熱総合管理システムです。接続された空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、その他の関連機器を監視操作できます。本書では、特に機種名の指定がない場合これらの複数機種の総称として空調機と表しています。

PCおよびタブレット端末、スマートフォンのWebブラウザを利用することで、EW-50J 1台で最大50台の空調機の操作・監視が可能です。また、EW-50JはAE-200Jの拡張コントローラとしても使用することができます。AE-200Jに接続することで、AE-200Jから最大200台まで管理することができます。

### お知らせ

- 本書では、EW-50J (製品本体)のみで設定または表示可能な機能を記載しています。
- 本機のみでは、空調機の監視・操作はできません。空調機の監視・操作を行うには、パソコンまたはタブレットが必要です。詳細は「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。
- オプションのライセンス(「省エネ制御」「連動制御」など)が必要な場合は、購入した販売店に問い合わせてください。
- 空調機グループの変更など初期設定に関しては、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

項目		仕様
電源		AC100/200V ± 10% 50/60Hz 単相
消費電力		12W
M-NET 給電能力係数		6
消費電力係数		0
L 係数		0
通信インターフェース (LAN1、LAN2)		100BASE-TX
環境条件	使用温度範囲	-10 ~ + 55℃
	保存温度範囲	-20 ~ + 60℃
	湿度	30 ~ 90%RH (結露がないこと)
質量		1.7kg
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		172 × 209 × 92mm (L字金具使用時は、172 × 253 × 92mmとなります。)
設置環境		室内の金属製制御盤内のみ



## 1-5. SDカードに関するお願い

EW-50Jに内蔵されているSDカードは、本機専用です。取り外さないでください。また、他の機器では使用できません。

## 1-6. 製品本体の運搬と開梱



梱包材は破棄すること。

◆ 窒息事故のおそれあり。



指示を  
実行

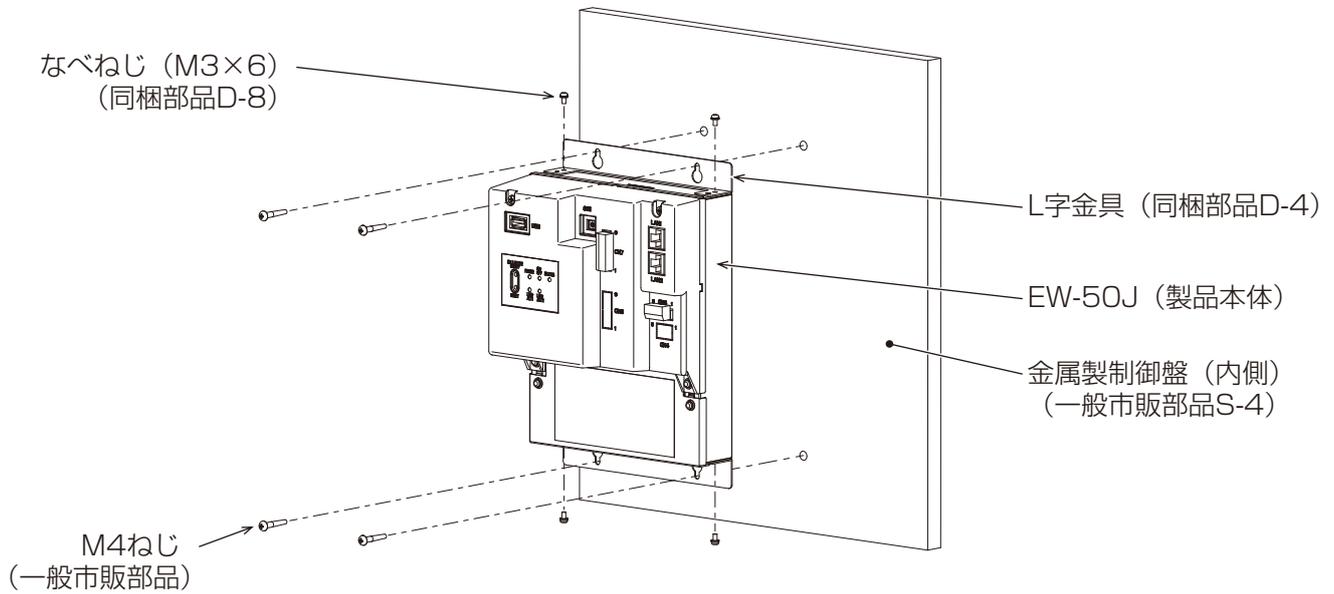
製品本体を運搬する際は、端子台部を持ったり、接続している配線を持って引っ張ったりせず、本体を持って運んでください。

製品本体に衝撃が加わらないようにしてください。

## 2. 使用箇所 (据付工事の概要)

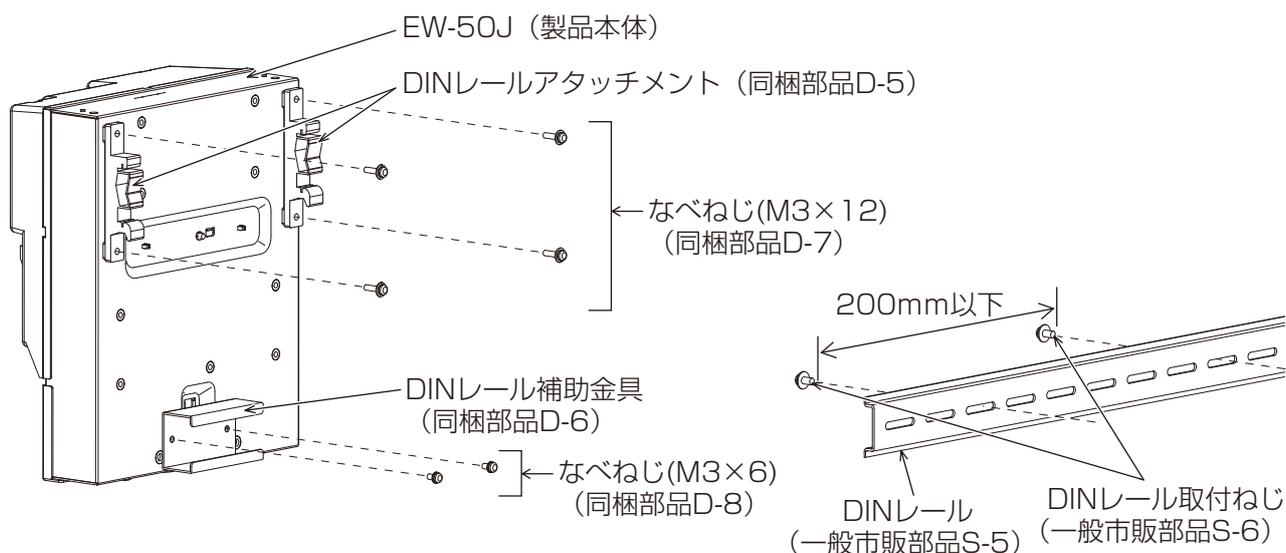
### 2-1. 使用部品の取付位置

#### 2-1-1. L字金具を使用して取付ける場合



品名	内容
EW-50J (製品本体)	
L字金具 (同梱部品D-4)	盤内設置時に使用します。
なべねじ (M3×6) (同梱部品D-8)	EW-50JにL字金具を取付けるときに使用します。
M4ねじ (一般市販部品)	EW-50Jを盤面に取付けるときに使用します。

## 2-1-2. DINレールを使用して取付ける場合



品名	内容
EW-50J (製品本体)	
DINレール アタッチメント (同梱部品 D-5)	EW-50JをDINレールに取付けるときに使用します。
DINレール補助金具 (同梱部品 D-6)	EW-50JをDINレールに取付けるときに使用します。
なべねじ (M3 × 12) (同梱部品 D-7)	EW-50JにDINレールアタッチメントを取付けるときに使用します。
なべねじ (M3 × 6) (同梱部品 D-8)	EW-50JにDINレール補助金具を取付けるときに使用します。
DINレール (一般市販部品 S-5)	EW-50Jを制御盤内に取り付けるときに使用します。 (35mm幅DINレールに対応)
DINレール取付ねじ (一般市販部品 S-6)	DINレールを制御盤内に取り付けるときに使用します。

### お願い

- ・ 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。  
工具が適切でない場合、機器損傷のおそれがあります。
- ・ 直射日光のあたる場所、または周囲温度が55℃以上・-10℃以下になる場所にコントローラを据付けしないでください。  
変形・故障のおそれがあります。

## 2-2. 従来工事方法との相違

本コントローラの寸法および取付方法は、従来機種 (PAC-YG50EC) と異なります。「4. 据付工事」を参照して工事を行ってください。

## 3. 据付場所の選定

### 3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

### 3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

### 3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

## 警告

以下の場所にコントローラを設置しないこと。

◆可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所

◆可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。



禁止

コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。

◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ  
禁止

病院など医療機関に据付ける場合はノイズ対策を行うこと。

◆ノイズが医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げるおそれあり。



指示を  
実行

コントローラの質量に耐えられるところに据え付けること。

◆コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を  
実行

#### お願い

・コントローラを通信・放送設備がある所に据え付ける場合は、ノイズ対策を行ってください。

ノイズにより映像放送の乱れ・雑音が生じるおそれがあります。

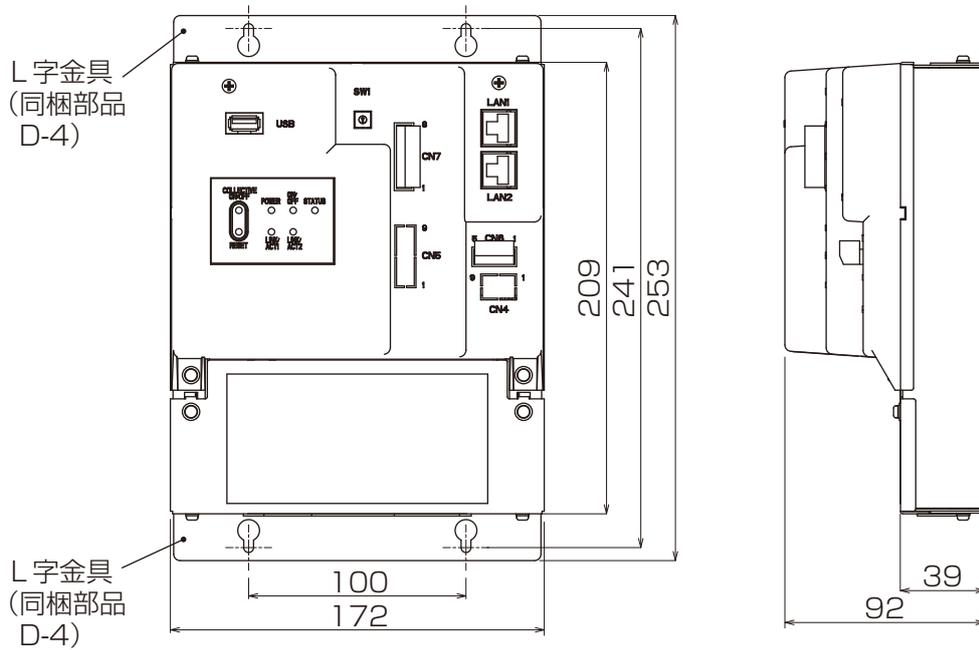
インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響によるコントローラの故障・誤動作のおそれがあります。

### 3-4. 取付寸法

#### 3-4-1. EW-50Jの外形寸法

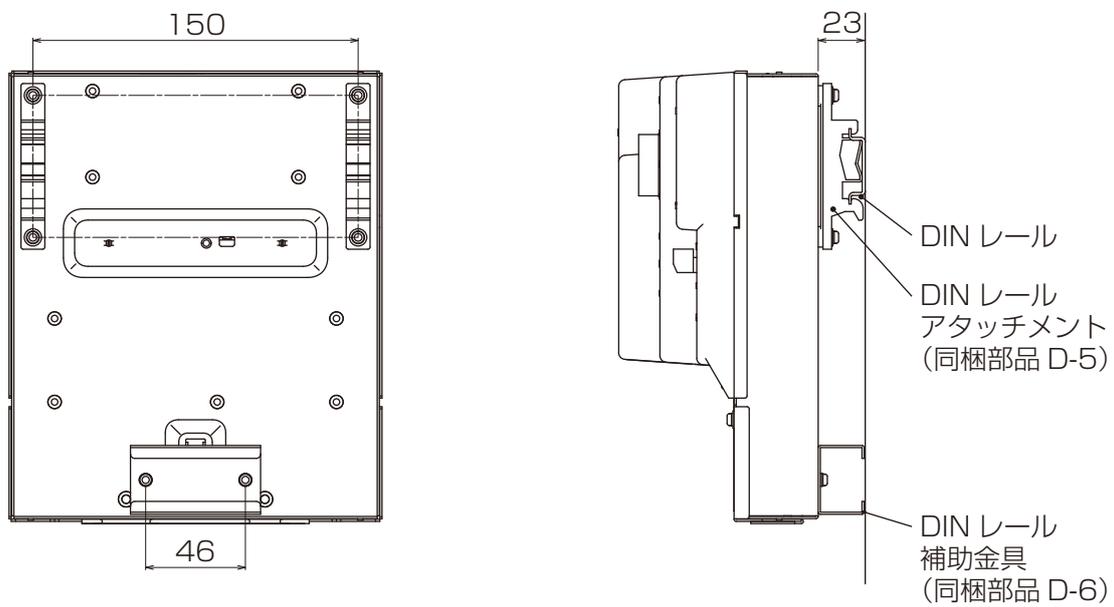
##### [1] 制御盤面に取付ける場合

(単位：mm)



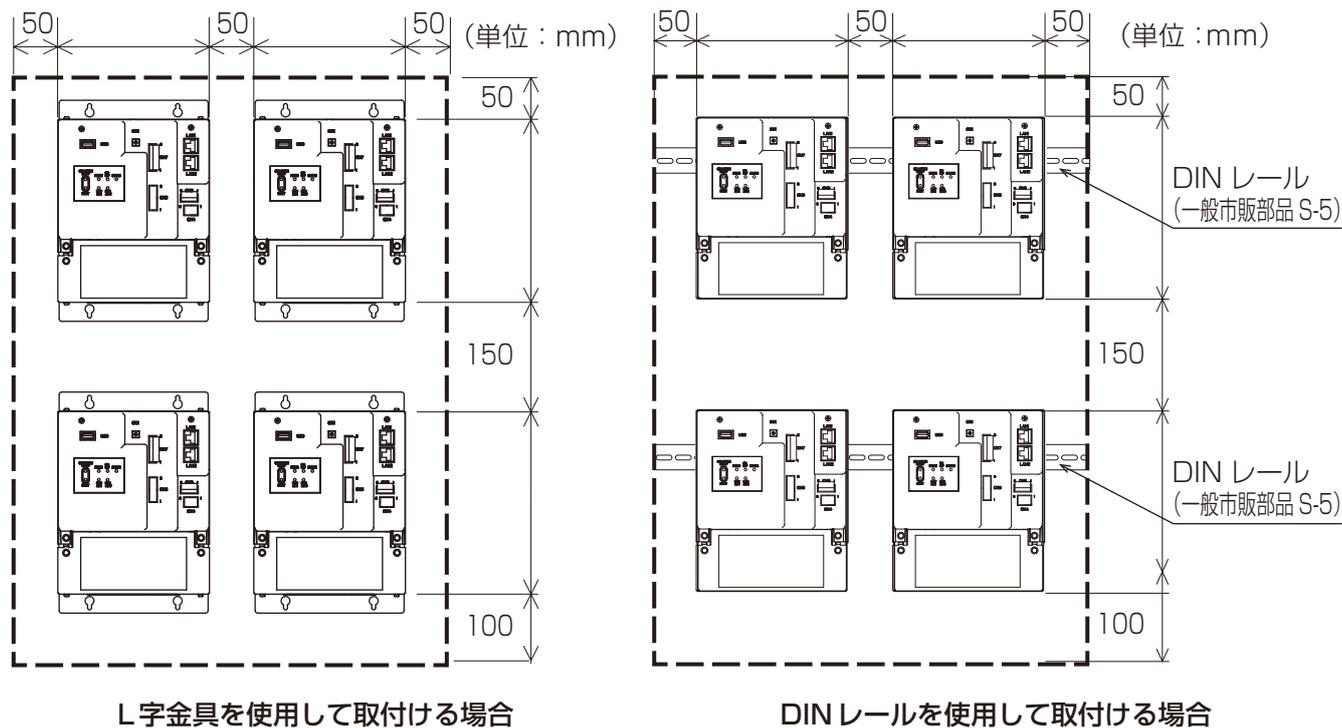
##### [2] DIN レールに取付ける場合

(単位：mm)



### 3-4-2. EW-50Jの必要スペース

EW-50Jを取付けるとき、周囲に下図で示すスペースを確保してください。



### 3-5. 保守・点検に関する事項

運転操作および保守・メンテナンスなど、サービスが容易に行えるよう、サービススペースが確保できる場所を選んでください。

工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本機を含む空調冷熱システムが安全にかつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

## 4. 据付工事

### 警告

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って試運転・点検・サービスを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、故障・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を  
実行

地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ◆ コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を  
実行

据付工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用すること。

- ◆ 当社指定部品を使用しないと、事故のおそれあり。



指示を  
実行

### 注意

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を  
実行

### 4-1. 建物工事の進行と施工内容

据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。  
EW-50Jを設置する前に、必要なケーブルを準備してください。

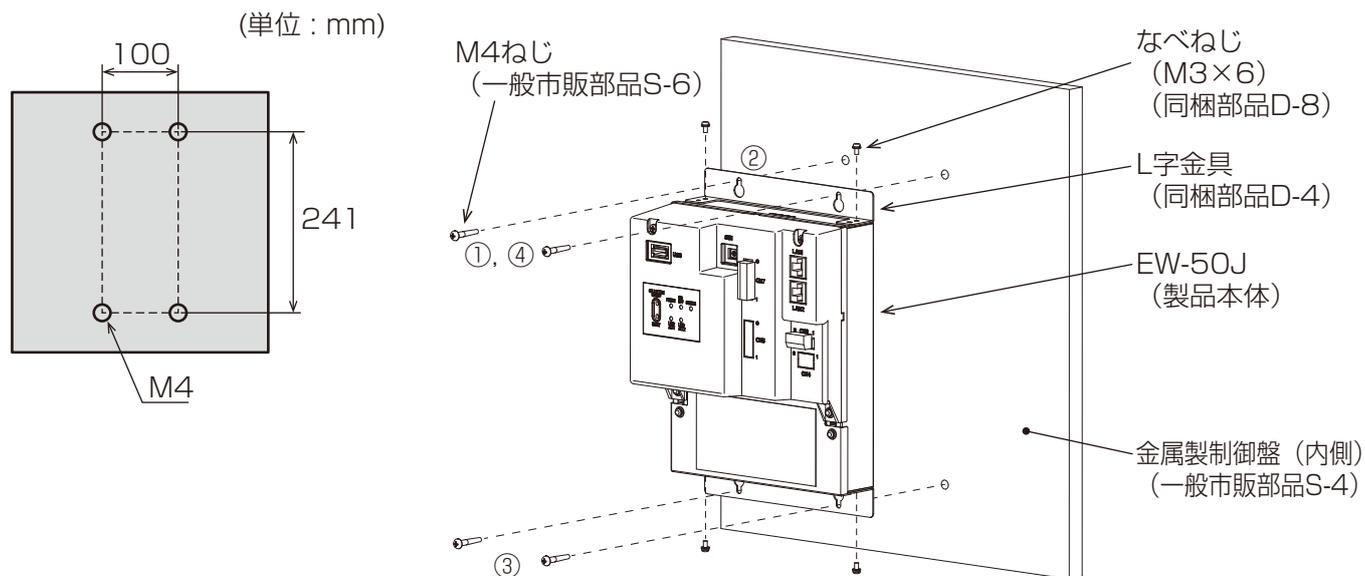
#### **お願い**

- ・ 継続的に振動が加えられるところには据付けしないでください。接続しているコネクタが外れるおそれがあります。

## 4-1-1. L字金具を使用して制御盤面に取付ける場合

## 手順

1. 金属製制御盤（一般市販部品S-4）を用意する。
2. スペースを確保して、金属製制御盤の内側に下図左に示すL字金具を固定するねじ穴を開ける。
3. なべねじ（M3×6）（同梱部品D-8）で2つのL型金具（同梱部品D-4）をEW-50Jに取付ける。
4. 金属製制御盤の内側にM4ねじ（一般市販部品S-6）でEW-50Jを下図右のように取付ける。
  - ① 上部M4ねじを仮止めする
  - ② L字金具上部の取付穴にねじを通し仮取付ける
  - ③ 下部M4ねじを締める
  - ④ 上部M4ねじを締める

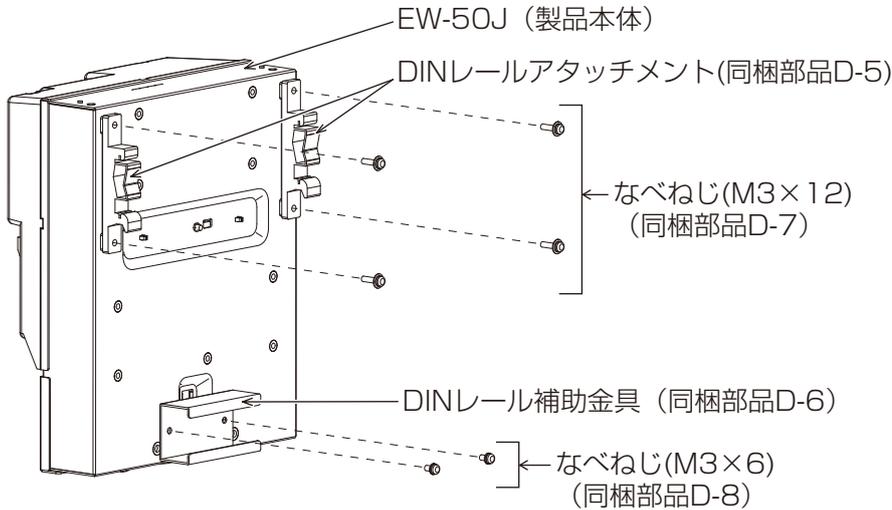


- EW-50Jを取付ける面には、本機の質量（1.7kg）を支える強度が必要です。
- 落下防止の為、4本のM4ねじで金属製制御盤に固定してください。

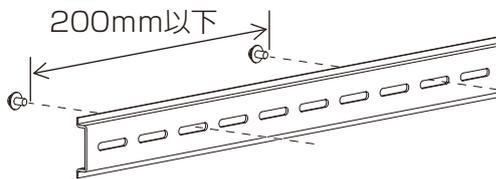
### 4-1-2. DINレールアタッチメントを使用して制御盤内に取り付ける場合

**手順**

1. 金属製制御盤（一般市販部品 S-4）を用意する。
2. なべねじ（M3 × 12）（同梱部品 D-7）で2つのDINレールアタッチメント（同梱部品 D-5）をEW-50Jに取り付ける。
3. なべねじ（M3 × 6）（同梱部品 D-8）でDINレール補助金具（同梱部品 D-6）をEW-50Jに取り付ける。

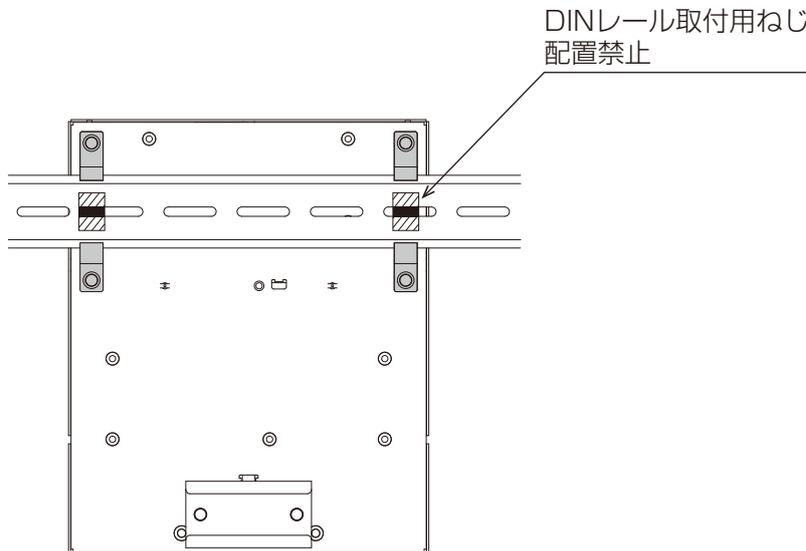


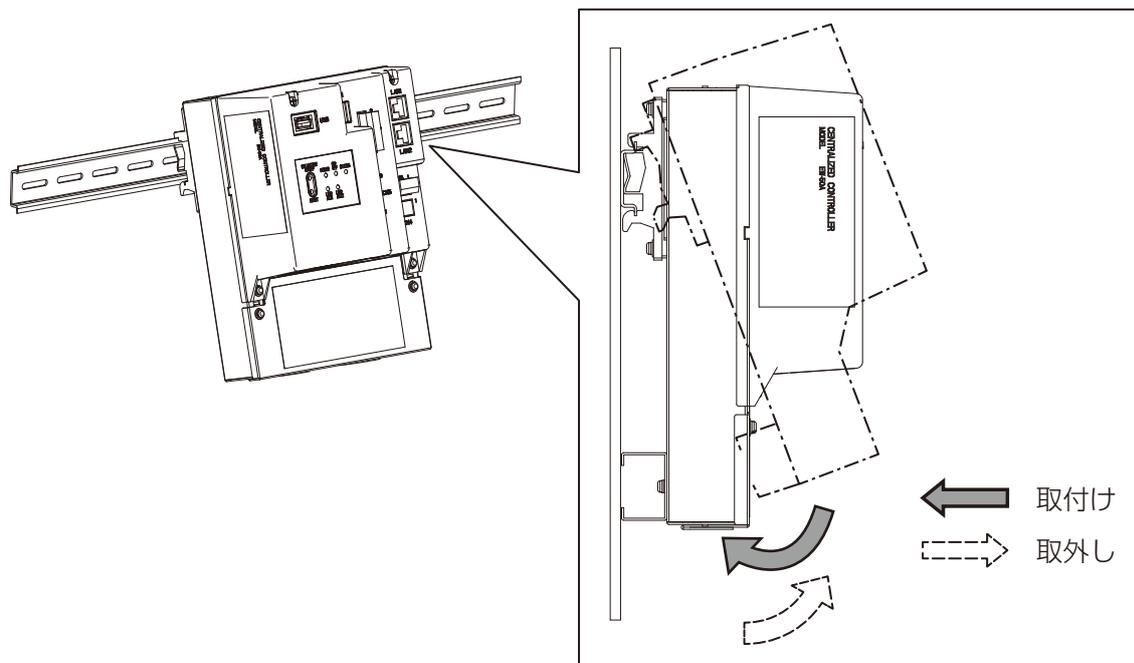
4. 金属製制御盤に一般市販部品のねじでDINレール（一般市販部品 S-5）を取付ける。  
35mm幅のDINレールを使用してください。  
強度を確保するために、DINレールを取付けるねじのピッチは200mm以下にしてください。  
また、取付ける金属製制御盤は、本機の質量（1.7kg）を支える強度が必要です。



**お願い**

- 振動の可能性がある場所にはEW-50Jを据え付けしないでください。
- DINレール取付用ねじとDINレールアタッチメントが接触するため、以下に示す範囲にはねじを固定しないでください。





5. DINレールアタッチメントの上部フックをDINレールに引っ掛ける。
6. 「カチッ」と音がするまで、EW-50Jの下部を押し。

**お願い**

- DINレールアタッチメントがDINレールに固定されていることを確認してください。

### 4-1-3. DINレールから本機を取外す場合

**手順**

1. EW-50Jの下部を手前に引く。
2. EW-50JをDINレールから取外す。

### 4-2. 諸官庁および関連部門への届出・報告事項

ありません。

# 5. 電気工事

## 警告

電源配線は信号端子台に接続しないこと。

- ◆ 機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。



接続禁止

電気工事をする前に、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



指示を  
実行

電気工事は、第一種電気工事士が以下に従って行うこと。(第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可)

- ◆ 電気設備に関する技術基準
- ◆ 内線規程
- ◆ 据付工事説明書
- ◆ 施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を  
実行

電源には過電流遮断器・漏電遮断器をユニット1台につき1個取り付けること。

- ◆ 感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を  
実行

D種接地（アース）工事は第一種電気工事士の資格のある電気工事業者が行うこと。(第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可)

- ◆ 感電・ノイズによる誤動作・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



指示を  
実行

### お願い

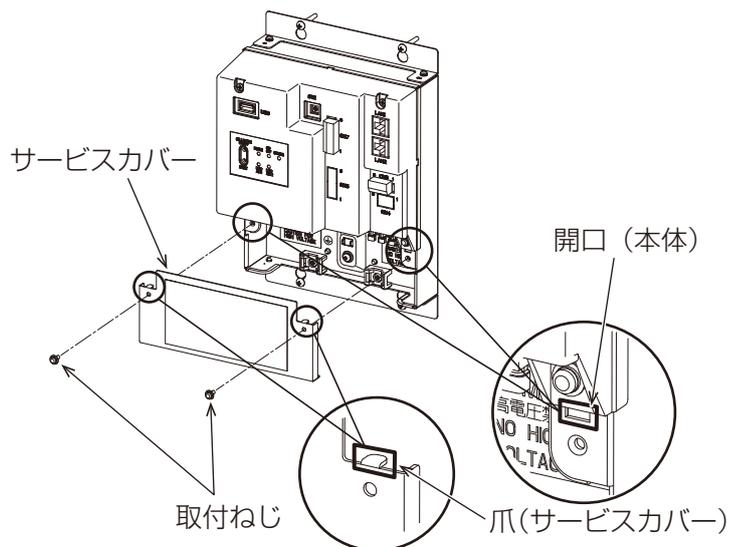
- ◆ 電源線と信号線を結束したり同じ金属管に収納したりしないでください。誤動作のおそれがあります。

## 5-1. サービスカバーの取外し / 取付け

### [1] サービスカバーを取外す場合

#### 手順

1. 取付ねじを取外す。
2. サービスカバーを取外す。

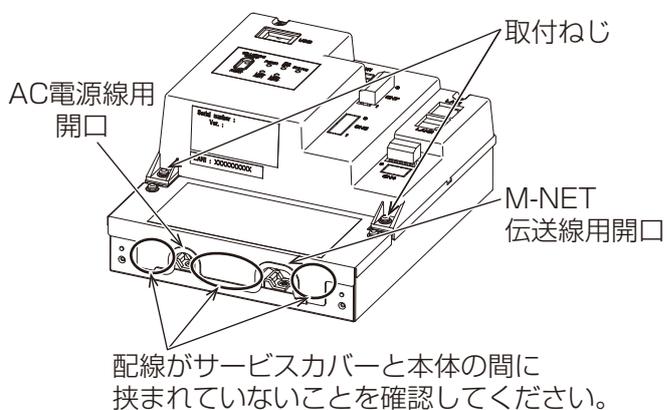


### [2] サービスカバーを取付ける場合

「5-2. AC電源線とM-NET伝送線」の接続完了後、実施してください。

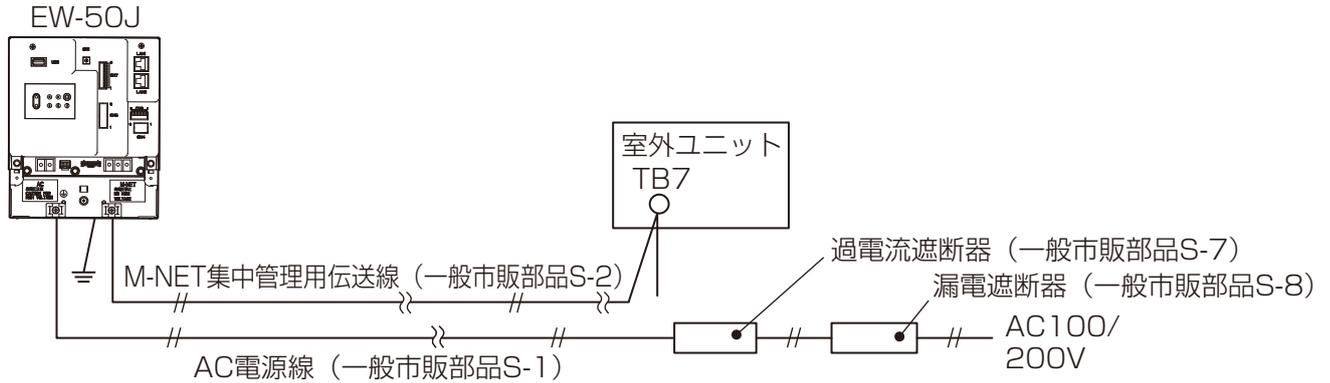
#### 手順

1. AC電源線（一般市販部品S-1）とM-NET伝送線（一般市販部品S-2）をサービスカバーの開口に入れた状態で、爪を開口に差し込む。
2. 取付ねじ（2個）を取付ける。
3. 再度、配線がサービスカバーと本体の間に挟まれていないことを確認する。



## 5-2. AC電源線とM-NET伝送線

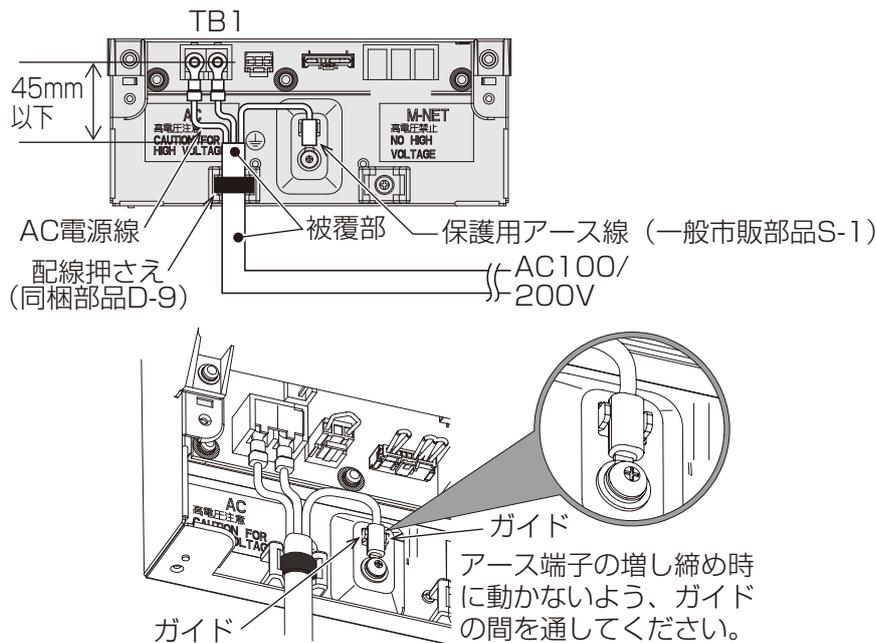
下図にしたがって、AC電源線（一般市販部品S-1）・保護用アース線（一般市販部品S-1）・M-NET伝送線（一般市販部品S-2）を接続してください。接地はD種接地工事を行ってください。



### お願い

- ・ 機器ごとに過電流遮断器（一般市販部品S-7）、漏電遮断器（一般市販部品S-8）を設置してください。
- ・ 端子台に接続する配線には、スリーブ付き丸端子（一般市販部品S-3）を使用してください。
- ・ M-NET伝送線は、AC電源線から発生するノイズを受けないよう、AC電源線と離して配線してください。

### 5-2-1. AC電源線・保護用アース線の接続方法



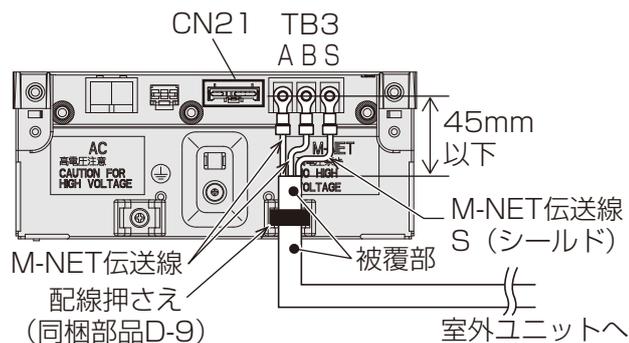
### 手順

1. 電源線にはM3.5、保護用アース線にはM4のねじに対応したスリーブ付き丸端子（一般市販部品S-3）を取付ける。
2. 本体の電源線端子台（TB1）、アース端子台に接続する。  
保護用アース線は増し締め時に動かないようにガイドの間を通してください。
3. 配線を配線押さえ（同梱部品D-9）で固定する。

### お願い

- ・ 保護用アース線は電源線（L/L1、N/L2）より約25mm長くなるようにしてください。  
配線は被覆端からスリーブ付き丸端子までを45mm以下にして配線押さえ（同梱部品D-9）で被覆部を固定してください。  
（「5-2-3. 配線の固定方法」を参照してください。）
- ・ 端子ねじの締め付けトルクは、1.0～1.3N・mを守ってください。

## 5-2-2. M-NET 集中管理用伝送線の接続方法



### 手順

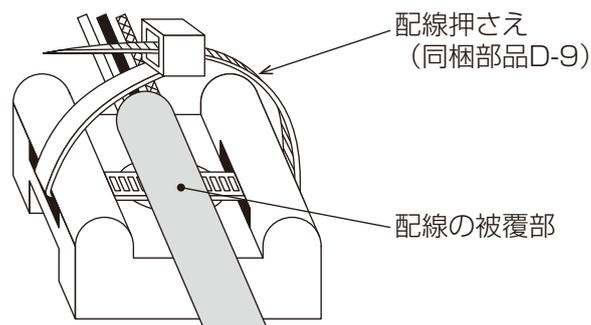
1. M-NET 集中管理用伝送線 (A,B) およびシールド線に M3.5 のねじに対応したスリーブ付き丸端子 (一般市販部品 S-3) を取付ける。
2. 本体 M-NET 端子台 (TB3) に接続する。
3. 配線を配線押さえ (同梱部品 D-9) で固定する。
4. EW-50J 以外から M-NET 給電する場合は、CN21 コネクタを取り外す。

### お願い

- M-NET 集中管理用伝送線のシールド線を接続してください。  
配線は被覆端から丸端子までを 30mm 以下にして配線押さえ (同梱部品 D-9) で被覆部を固定してください。  
(「5-2-3. 配線の固定方法」を参照してください。)
- M-NET 集中管理伝送線のシールドは、一点アース処理が必要です。(D 種接地)
- AE-200J/AE-50J の CN21 コネクタが「有 (工場出荷時)」の場合は、M-NET (TB3) の S (シールド) 端子は本体内でアース端子台に接続され、保護アース線経由でアース処理されます。
- AE-200J/AE-50J の CN21 コネクタが「無」の場合は、『伝送線用給電ユニット』でアース処理を実施してください。
- 端子ねじの締め付けトルクは  $1.0 \sim 1.3\text{N}\cdot\text{m}$  を守ってください。

## 5-2-3. 配線の固定方法

配線押さえ (同梱部品 D-9) を使用して、固定してください。  
配線は被覆部で固定してください。



## 5-3. ネットワーク接続配線

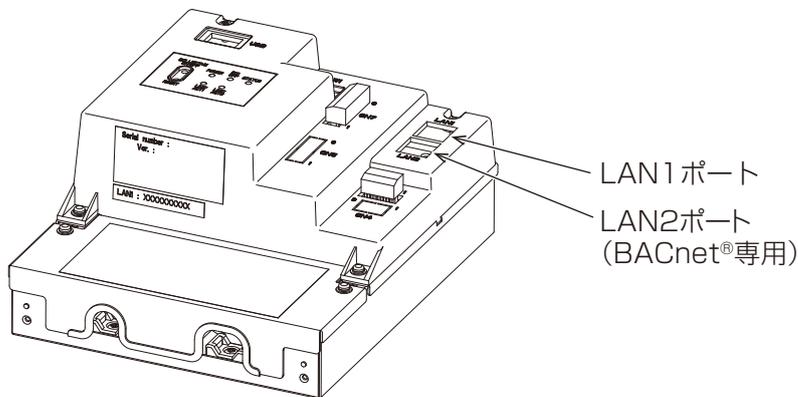
### お願い

- インターネットに接続する場合、VPNルータ（一般市販部品 S-20）などのセキュリティ機器を使用してセキュリティを確保してください。  
不正アクセスやいたずら操作のおそれがあります。

### 5-3-1. LANケーブルの接続方法

#### 手順

- EW-50JのLAN1ポートにLANケーブル（一般市販部品 S-18）を接続する。
  - LAN2ポートはBACnet<sup>®</sup>機能専用です。「AE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書 BACnet<sup>®</sup>機能編」を参照してください。
  - LANケーブルは現地で手配してください。カテゴリ5以上の100BASE-TX用のストレートケーブルを使用してください。（最大配線長は100m）
  - LANケーブルが100mを超える場合は、スイッチングHUB（一般市販部品 S-19）にて中継してください。

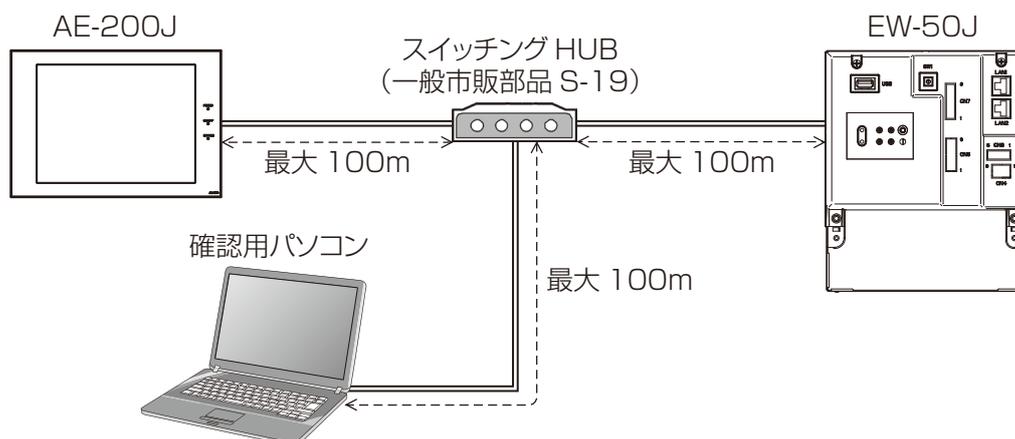


### お願い

- LAN配線の本体までの引込みはM-NET伝送線と同様の方法で配線してください。
- 既存のLANにEW-50Jを接続する場合は、システム管理者に相談のうえ、IPアドレスを決定してください。

### 5-3-2. 周辺機器との接続方法

AE-200J/AE-50J/EW-50J間に接続するスイッチングHUBの段数に制限はありませんが、伝送遅延時間は往復4秒以下としてください。「5-3-3. 伝送遅延時間の確認」を参照してください。伝送遅延時間が長い場合、通信異常を検知する場合があります。



### 5-3-3. 伝送遅延時間の確認

各 AE-200J/AE-50J/EW-50J を確認用のパソコンを接続し、確認用のパソコンから各 AE-200J/AE-50J/EW-50J に対してコマンドを送信し、AE-50J/EW-50J からの応答を受信するまでの時間を確認します。

パソコンの IP アドレスの設定については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

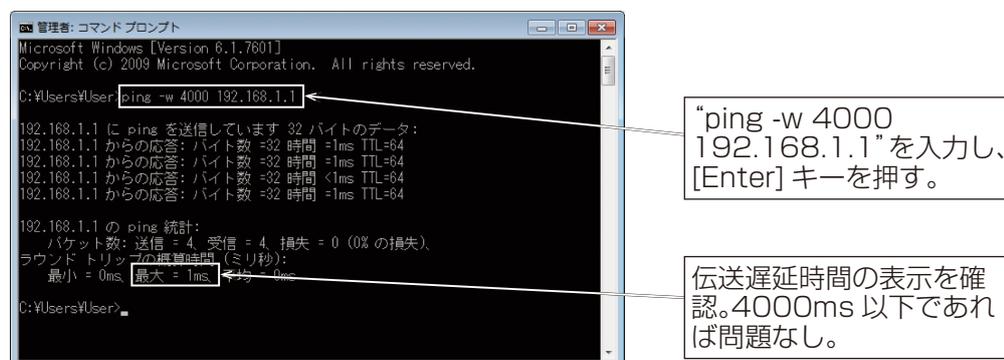
#### 手順

1. 確認用パソコンの [スタート] – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] を起動する。  
※ Windows7 での手順となります。OS により手順が異なる場合があります。
2. "ping (AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス)" を入力し、[Enter] キーを押す。  
(下図の例では "ping -w 4000 192.168.1.1" を入力)
3. 画面に表示される時間 (下図参照) が 4000ms 以下であることを確認する。  
(下図の例では最大 1ms であり伝送遅延時間は問題なし)

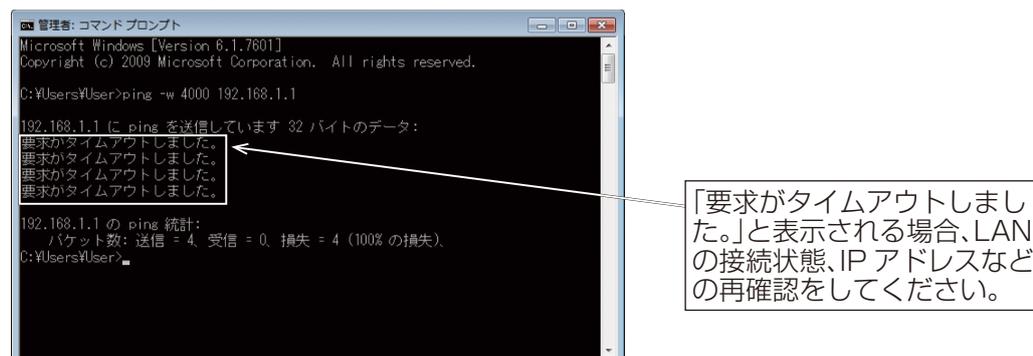
#### お願い

- 確認用パソコンで使用する IP アドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50J などに使用している IP アドレスと重複して設定しないでください。
- 既設 LAN (専用の LAN を使用していない) に接続する場合、ネットワーク管理者に連絡して、確認用パソコンの接続許可と暫定使用する IP アドレスをもらってください。
- 「要求がタイムアウトしました。」が表示される場合や、表示される時間が 4000ms を超える場合にはネットワーク管理者に相談し、スイッチング HUB などの段数を減らす、ネットワークの変更を行うなどの対応をしてください。

(問題なしの場合)



(問題ありの場合)



## 5-4. 外部機器の配線

# ⚠ 注意

ノックアウト穴のバリに触れないこと。

◆ けがのおそれあり。



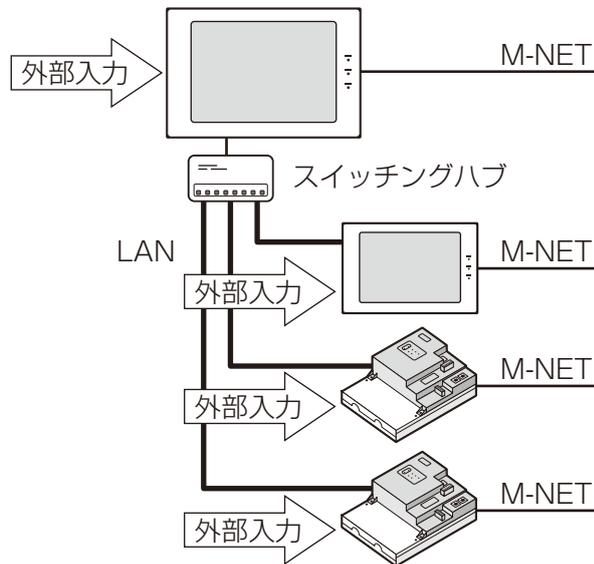
接触禁止

## 5-4-1. 外部入力

外部接点信号 (DC 12V または 24V) を使用することにより、制御を行うことができます。

外部入力は、AE-200J および AE-50J/EW-50J の各システムに接続されている機器に対してのみ制御となります。(別系統に接続された機器への制御はできません。)

AE-200J/AE-50J/EW-50J それぞれに外部入出力アダプタ (別売部品 P-1) を接続してください。



### お願い

- 外部信号の入出力には外部入出力アダプタ (別売部品 P-1) を購入してください。
- 外部入出力アダプタは本体の CN5 のノックアウト穴をあけて接続してください。(「1-4. 製品の概要」参照)
- 工具で基板を傷つけないように作業してください。
- 「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照し、初期設定用 Web ブラウザで EW-50J の外部入出力設定をしてください。

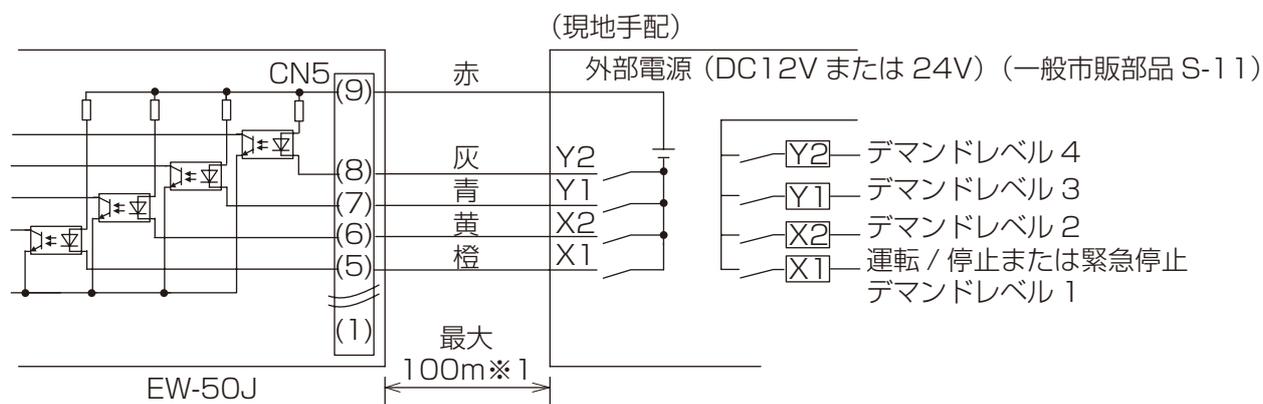
## [1] 外部入力の仕様

### (1) 推奨回路例

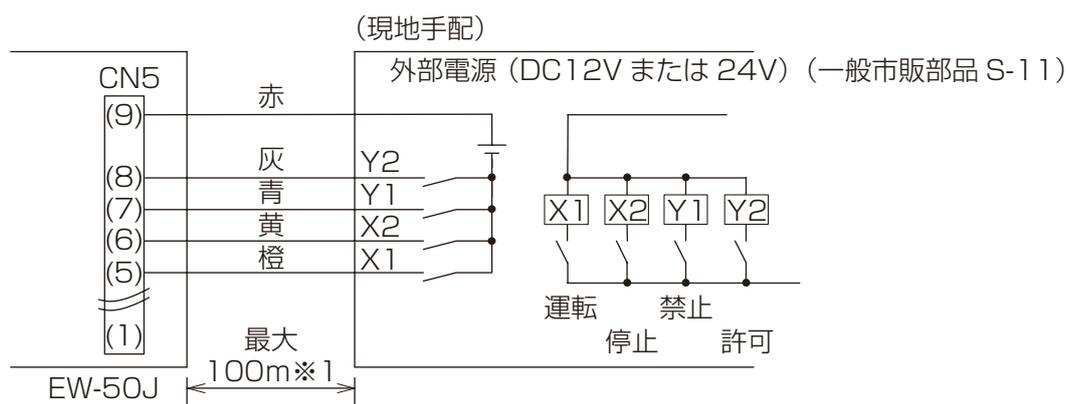
#### お願い

- 本体はトランジスタ駆動のため、外部電源 (DC12V または 24V) (一般市販部品 S-11) が必要です。
- 故障を防止するため、外部電源は、正しい極性で入力回路に接続してください。
- 下図の (5) ~ (8) をマイナス側に接続してください。

#### 1) レベル信号 (リレー駆動する場合)



#### 2) パルス信号 (リレー駆動する場合)



※ 1 距離が長くなる場合は、ノイズの影響を十分に考慮した配線工事を実施してください。

リレー X1、X2、Y1、Y2 は次の仕様のものを使用してください。

接点定格

定格電圧：DC12V または DC24V

定格電流：10mA 以上

最小適用負荷：DC1mA 以下

#### お願い

- リレー (一般市販部品 S-13)、外部電源 (一般市販部品 S-11)、延長ケーブル (一般市販部品 S-12) は現地にて手配してください。
- リード線と延長ケーブルの総配線長は 100m 以下にしてください。(0.3mm<sup>2</sup>以上のケーブルを使用してください。)
- 使用しないケーブルはコネクタの近くで切断し、切断した部分はテープなどで絶縁処理をしてください。

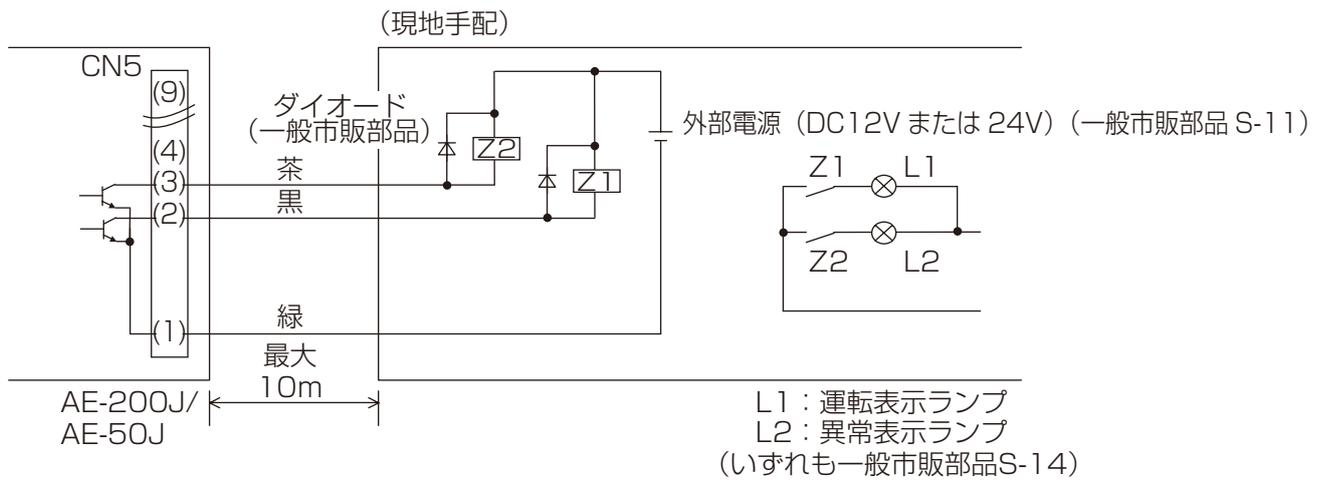
## 5-4-2. 外部出力

### [1] 推奨回路例

#### お願い

- 本体はトランジスタ駆動のため外部電源 (DC12V または 24V) (一般市販部品 S-11) が必要です。
- 故障を防止するため、外部電源は、正しい極性で出力回路に接続してください。特にサージ防止用ダイオード内蔵タイプのリレーの場合は、必ず正しい極性で接続してください。
- 下図の (1) をマイナス側に接続してください。
- リレーを接続しない状態 (無負荷) で、外部電源を接続しないでください。
- リレーコイルの両端にダイオードを入れてください。(ダイオード内蔵タイプを推奨します。)

#### (1) リレー駆動させる場合



リレー Z1 および Z2 は次の仕様のものを使用してください。

操作コイル

定格電圧: DC12V または 24V

消費電力: 0.9W 以下

#### お願い

- リレー (一般市販部品 S-13)、表示用ランプ (一般市販部品 S-14)、外部電源 (一般市販部品 S-11)、ダイオード (一般市販部品)、延長ケーブル (一般市販部品 S-12) は現地で手配してください。
- リード線と延長ケーブルの総配線長は 10m 以下にしてください。(0.3mm<sup>2</sup> 以上のケーブルを使用してください。)
- 使用しないケーブルはコネクタの近くで切断し、切断した部分はテープなどで絶縁処理をしてください。

#### お知らせ

- 信号出力時に各素子がオンになります。

### 5-4-3. 計量用パルス入力

電力量計（一般市販部品 S-15）などからのパルス信号を直接取り込み、積算回数をもとに電力按分課金支援機能用のデータや、エネルギー管理データを算出します。

#### 機能別の使用できるパルス入力

○：接続可 ×：接続不可

機能	パルス入力方法		
	AE-200J	AE-50J	EW-50J
電力按分課金支援機能（オプション）	×	○*1	○*1
エネルギー管理機能	○	○	○
ピークカット制御機能（オプション）	○	○	○

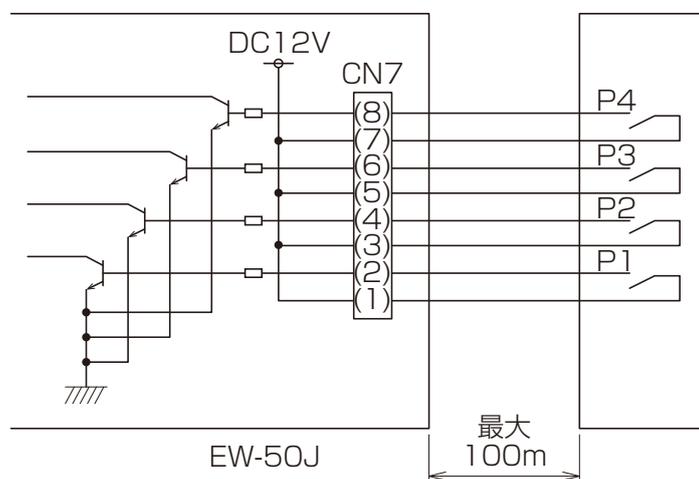
※1 電力按分課金支援機能を使用する場合は、計量用計測コントローラによる電力量計測の使用を推奨します。

（AE-50J/EW-50J内蔵の計量用パルス入力機能を使用した場合、AE-50J/EW-50Jの停電中、電源遮断中およびソフトウェアアップデート中は、パルス入力が取得できず、実際の電力量との差異が発生する可能性があります。）

#### [1] パルス信号入力の仕様

CN7	信号
7番、8番	計量計4（カウント入力用）
5番、6番	計量計3（カウント入力用）
3番、4番	計量計2（カウント入力用）
1番、2番	計量計1（カウント入力用）

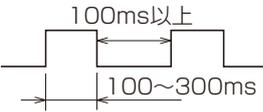
#### [2] 推奨回路例



#### お願い

- 計量用パルス入力端子(CN7)はDC12Vの電圧を有していますので、別電源から電圧の印加はしないでください。

電線の電力量計のパルス仕様

電力量計用電線 (一般市販部品 S-16) のサイズ	本機の端子台にあったサイズの電線 (銅線) を使用してください。	
	単線：	$\phi$ 0.65mm (AWG21) ~ $\phi$ 1.2mm (AWG16)
	撚り線：	0.75mm <sup>2</sup> (AWG18) ~ 1.25mm <sup>2</sup> (AWG16)
	素線径 $\phi$ 0.18mm 以上	
電力量計 (一般市販部品 S-15)	単位パルスごとに無電圧 a 接点パルスを出力 出力パルス方式：半導体リレー パルス幅：100～300ms (休止期間 100ms 以上)	
		
	出力パルス単位：0.1/1.0/10/100 [kWh/pulse] ※ 1kWh/pulse 以下を推奨	

**お知らせ**

- 計量用パルス入力端子 (CN7) への配線の接続には、M1 ねじ対応の精密ドライバーが必要になります。

**お願い**

- ケーブルの総配線長は 100m 以下にしてください。(0.3mm<sup>2</sup> 以上のケーブルを使用してください。)
- 電力量計用電線 (一般市販部品 S-16) は、M-NET 伝送線 (一般市販部品 S-2) および AC 電源線 (一般市販部品 S-1) と並走、近接させないでください。また、ループ配線にならないよう設置してください。
- 配線の被覆を剥く長さは 12 ± 1mm とし、端子に確実に挿入してください。
- 配線を引っ張られても端子台に負荷が掛からないように、配線には遊びを設けて接続してください。負荷が掛かる場合は、配線押さえの使用または中継端子などで経由させ、直接本機の端子台に負荷が掛からないようにしてください。

## 6. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下記チェックリストに従ってもう一度点検してください。  
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

### 6-1. 配線の確認事項

分類	内容	チェック欄
AC電源線	電源線は端子台(TB1)と配線押さえで固定していますか。	
	電源線は「L/L1」「N/L2」端子に接続していますか。	
	アース線は、アース端子台に接続していますか。	
	電源線と伝送線を結束していませんか。	
	電源線と伝送線およびLAN配線は同一管内に収めず、分離していますか。	
M-NET伝送線	伝送線は端子台(TB3)と配線押さえで固定していますか。	
	伝送線は、「A」「B」端子に接続していますか。	
	シールドは、「S」端子に接続していますか。	
	室外ユニットの伝送線基板TB7の「S」端子に、シールドを接続していますか。	
LAN配線	LAN1に接続していますか。(LAN2はBACnet <sup>®</sup> 機能専用です。)	
外部入出力	外部電源は、正しい極性で接続していますか。	
セキュリティ	システムはプライベートネットワーク回線、またはVPN機能がついたルータを介してインターネットに接続されていますか。 (インターネットに接続しない場合ルータは不要です。)	

### 6-2. 初期設定前の確認事項

分類	内容	チェック欄
システム環境	グループ設定・ブロック設定・連動設定表を準備する。	
	EW-50J名(建物名称など:40文字)、グループ名(20文字)、ブロック名(20文字)に半角の「: < > & "」が含まれないことを確認する。	
	EW-50J以外の機器のM-NETアドレスを決定する。	
既設LANに接続する場合	システム管理者と相談し、IPアドレスを決定する。	
下位システムコントローラを使用する場合	下位システムコントローラを手元操作禁止の対象にするかを決定する。	
システムリモコン(PAC-SF50AT、PAC-SF50AT1)を下位システムコントローラとして使用する場合	システムリモコン(PAC-SF50AT、PAC-SF50AT1)の「時刻発報」を【 <b>使用しない</b> 】に設定する。 (時刻マスタとなるコントローラを1台のみとするため)	
電力量計を使用する場合	電力量計のパルス仕様を確認する。 (「5-4-3. 計量用パルス入力」参照)	
外部入出力を使用する場合	信号の種類を確認する。(「5-4. 外部機器の配線」参照)	
AE-200J/AE-50Jを複数台接続する場合	高度設定の時刻マスタ/サブ、旧機種互換モードの設定を確認する。	
上位システム(ビル管理システムなど)を接続する場合	デュアルオートモードに対応していない上位システム(ビル管理システムなど)を接続する場合は、旧機種互換モードを【 <b>オン</b> 】に設定する。	
省エネ機能を設定する場合	ET制御等の省エネ設定を確認する。詳細については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照ください。	

# 7. 試運転

## 警告

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って試運転・点検・サービスを行うこと。

- ・不備がある場合、故障・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を  
実行

お客様立ち合いで試運転を行ってください。

## 7-1. ソフトウェアのアップデート

EW-50Jソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアバージョンを統一するためにアップデートファイルを準備してください。アップデートファイルの入手は、お買い上げの販売店(工事店)にお問い合わせください。

ソフトウェアアップデートは、Webブラウザを用いてアップデートを実施してください。



### お知らせ (必要により、お客様の承諾をお取りください。)

- ・ EW-50Jのアップデート中は空調機との通信ができないため、運転中の空調機が通信異常を検知して、手元リモコンに異常を表示することがあります。この場合も空調機は運転を継続しており、手元リモコンでの操作は可能です。(ただし、手元リモコンがないシステムやスリム機種では、通信異常を検知して異常停止する可能性があります。)
- ・ ソフトウェアアップデート中は、最大60分間のエネルギー管理用データおよび課金用データが記録されません。
- ・ EW-50Jの計量用パルス入力機能を使用する場合、ソフトウェアアップデート中に入力された計量用パルスはカウントされません。
- ・ ソフトウェアのバージョンダウンはできません。

### お願い

- ・ AE-200Jと拡張コントローラのバージョンを統一してください。不統一の場合は「7905」異常を検知し、運用ができません。
- ・ アップデートを行った場合、初期設定ツールも併せてアップデートしてください。
- ・ アップデートを実施する直前に運転している空調機を記録し、アップデート後に空調機の運転状態を確認し、運転中の空調機が停止になっていた場合、運転の操作など必要に応じて対処してください。
- ・ アップデート中はスケジュール制御・課金データ処理・ピークカット制御・エネルギー管理機能などの各種制御機能が動作できません。  
あらかじめこれらの機能の設定内容を確認し、機能停止の影響が小さい時間帯にアップデートを実施してください。

- 以下の機能を利用している場合は、下表アップデート禁止時間帯でのAE-200J/AE-50J/EW-50Jのアップデート作業を避けてください。

利用機能	アップデート禁止時間帯
課金按分機能 (料金計算ツールを使用)	午前5:00～5:10
課金按分機能 (TG-2000を使用)	午前4:05～4:35
異常履歴自動出力 (日毎) (TG-2000を使用)	午前0:05～0:15
省エネ日報 (省エネ/ピークカット制御) (TG-2000を使用)	午前2:00～2:10
計量用計測コントローラを使用	午前0:00～0:05
計測トレンドモニタ (計量用計測コントローラ、環境用計測コントローラを使用) (TG-2000を使用)	午前1:05～1:15
低温機器スケジュール機能	午後10:00～10:10

## 7-1-1. 事前準備

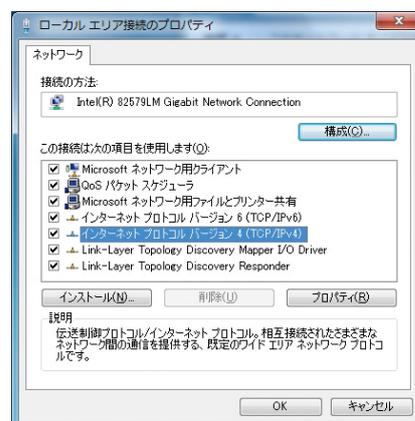
アップデート用PCのIPアドレスを変更します。

### お知らせ

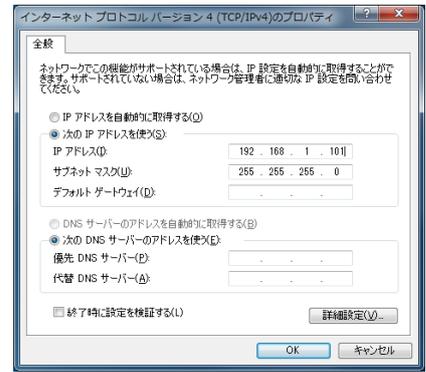
- 構内LANに接続されている場合はネットワーク管理者に連絡のうえ、許可をもらった後に、ネットワークの設定・アップデートを実行するようにしてください。

### 手順

- スタートメニューの[コントロールパネル]をクリックする。  
コントロールパネルを開きます。
- [ネットワークと共有センター]－[ローカルエリア接続]をクリックする。
- ローカルエリア接続の状態画面で、[プロパティ]をクリックする。
- [インターネットプロトコル4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。



5. 右記画面で、[次のIPアドレスを使う]にチェックを入れ、IPアドレスに[192.168.1.\*]と入力する。  
(\*のところは、アップデートするEW-50JのIPアドレスと違うアドレスを入力してください)。
6. サブネットマスクは、右記のように[255.255.255.0] (特に指定のない場合)を入力する。
7. 必要に応じてデフォルトゲートウェイを入力する。



### お願い

- 既に稼働中のEW-50Jをアップデートする際は、EW-50JのIPアドレスを確認のうえ、設定を行ってください。  
EW-50JのIPアドレスが[192.168.1.1]の場合は、[192.168.1.2]とするように3桁目までは同じ値を入力し、4桁目の数字が異なるように設定してください。
- 工場出荷状態のEW-50JのIPアドレスは[192.168.1.1]に設定されています。
- 既に構内LANに接続されているPCでアップデートを行う場合、サブネットマスクが上記と異なる場合があります。  
サブネットマスクが[255.255.0.0]の場合は、2桁目までは同じ値(192.168)を入力し、3桁目または4桁目が異なるように設定してください。

## 7-1-2. 作業手順

### 手順

1. [7-1-1. 事前準備] で設定したPCとアップデートするEW-50JがLANケーブルで接続されていることを確認する。
2. EW-50Jの電源を投入し、PCにアップデート用ファイルを格納したCD (またはUSBメモリ) を挿入する。
3. Web ブラウザのアドレス欄に、以下のWeb ページアドレスを入力し、**[Enter]** キーを押す。  
https : // [EW-50JのIPアドレス] /swupdate/Update.html

### お知らせ

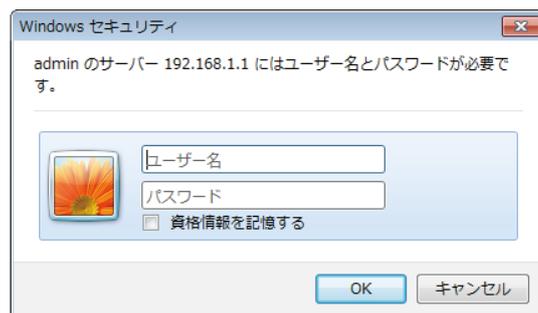
- EW-50JのIPアドレスが、[192.168.1.1] の場合、Web ページアドレスは  
https : //192.168.1.1/swupdate/Update.html になります

セキュリティ証明書が無効の場合、右の画面が表示します。

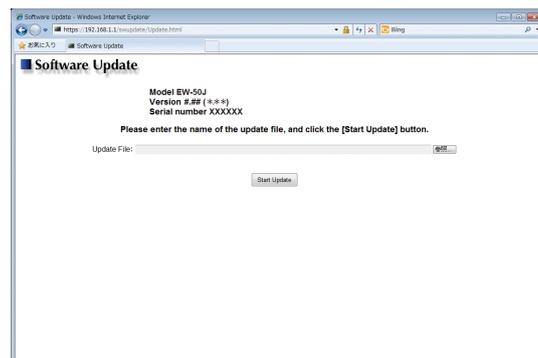
4. **[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。]** をクリックする。  
セキュリティの警告画面が表示します。
5. **[はい]** をクリックする。



6. メンテナンスユーザー (初期ユーザー名 : initial, 初期パスワード : init) のユーザー名とパスワードを入力して、ログインする。



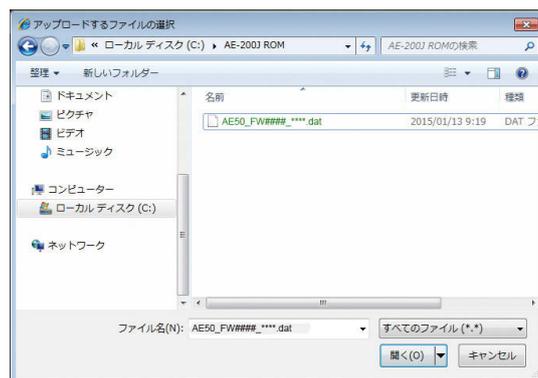
ソフトウェアアップデート画面が表示します。



7. **[参照...]** ボタンをクリックして、アップデートCDまたはUSBメモリ上のアップデート用ファイル (AE50\_FW####\_\*\*\*\*.dat) を選択する。

### お知らせ

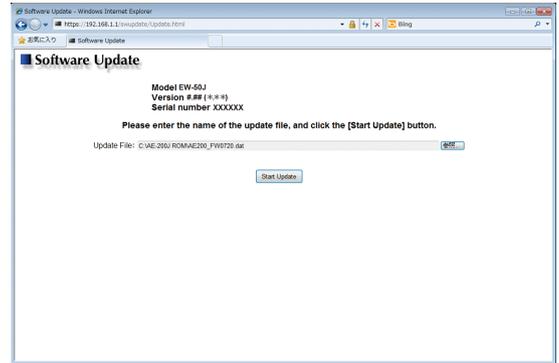
- ####\_\*\*\*\* : ソフトウェアバージョンとなります。
- ソフトウェアのバージョンダウンはできません。



8. **[Start Update]** ボタンをクリックする。  
EW-50Jのアップデート処理が開始します。

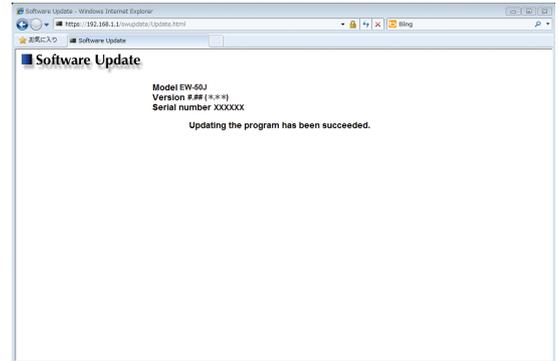
**お知らせ**

- アップデートには、10分程度かかります。
- アップデート処理中はLANケーブルを抜いたり、EW-50Jの電源を切らないでください。



EW-50Jの再起動が完了すると、アップデートは完了です。

9. バージョン表示 (Version #.#.#) がアップデートファイルのバージョンと同じになっていることを確認する。



10. 統合管理ブラウザ、または初期設定用 Web ブラウザをお使いの場合は、ブラウザの履歴データのクリアおよび Java の一時ファイルの削除を行う。  
手順については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

アップデートが正常完了しない場合は、再度アップデートを行ってください。同じ状況が続いた場合、EW-50Jが故障している可能性がありますので、販売店(工事店)に問い合わせてください。

## 7-2. ソフトウェア詳細確認手順

- 本製品に組み込まれたオープンソースソフトウェアの詳細については、下記から確認することができます。  
[https://\(EW-50JのIPアドレス\)/license/](https://(EW-50JのIPアドレス)/license/)  
初期設定用 Web ブラウザのメンテナンスユーザーのみ確認できます。  
メンテナンスユーザーの初期ユーザー名とおよびパスワードを入力してログインしてください。

初期ユーザー名	初期パスワード
initial	init

---

### 7-3. 初期設定 (ネットワーク設定)

システム管理者に問い合わせでEW-50JのIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを決定してください。

IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、初期設定ツールまたは初期設定用Webブラウザで設定します。

設定方法については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

#### **お知らせ**

- 初期設定ツールまたは初期設定用Webブラウザでネットワーク設定をするためには、SW1を「0」(工場出荷時)に設定する必要があります。(「7-5. 初期設定 (IPアドレス (LAN1) の簡易設定)」を参照してください。)

---

### 7-4. 初期設定 (その他の設定)

初期設定は、LAN経由で統合管理ブラウザから設定する方法、初期設定ツールから設定する方法、初期設定用Webブラウザから設定する方法があります。

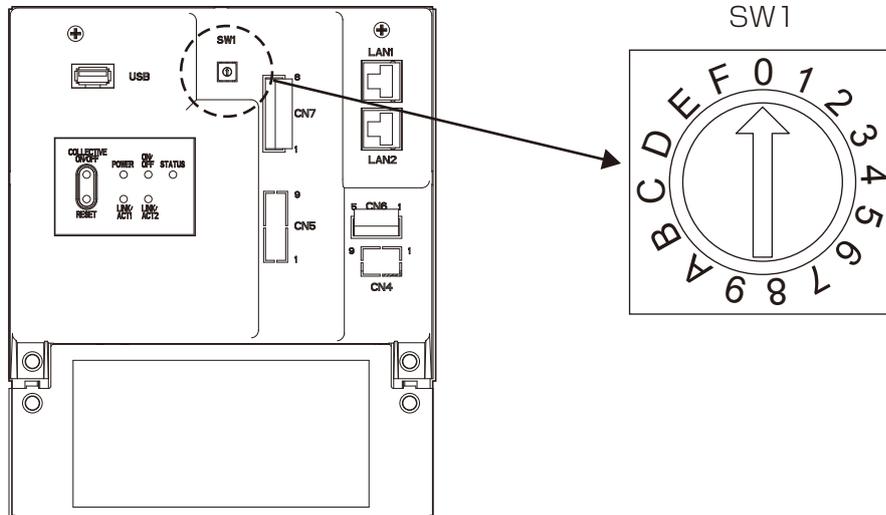
詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

## 7-5. 初期設定 (IP アドレス (LAN1) の簡易設定)

EW-50J を専用 LAN に単体で接続する場合、EW-50J の IP アドレス (LAN1)、ネットワーク設定は「IP アドレス簡易設定スイッチ」にて設定ができます。

既設 LAN に接続する場合や AE-200J の拡張コントローラとして使用する場合など、IP アドレス簡易設定スイッチでは設定不可能な場合は初期設定ツールまたは、初期設定用 Web ブラウザにて設定してください。

ロータリスイッチ SW1 で 192.168.1.1 ~ 15 までの IP アドレスが簡易設定できます。



### 手順

1. EW-50J の電源を OFF にする。
2. SW1 の矢印の方向を文字と合わせる。

### お願い

- 矢印の方向を文字と文字の間にしないでください。
- アドレスを設定するには、ロータリスイッチが壊れないように、精密ドライバー [(-)、2.0mm (W)] を 19.6 [mN・m] 未満のトルクで使用してください。
- LAN2 (BACnet<sup>®</sup> 用 LAN) を使用する場合は、初期設定ツールまたは、初期設定用 Web ブラウザにて LAN1 の IP アドレスを設定してください。

SW1	IP アドレス (LAN1)	サブネットマスク	ゲートウェイ
0	192.168.1.1 (工場出荷時)	255.255.255.0 (工場出荷時)	0.0.0.0 (工場出荷時)
	初期設定ツールまたは、初期設定用 Web ブラウザにて IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定		
1	192.168.1.1	255.255.255.0	0.0.0.0
2	192.168.1.2		
3	192.168.1.3		
4	192.168.1.4		
5	192.168.1.5		
6	192.168.1.6		
7	192.168.1.7		
8	192.168.1.8		
9	192.168.1.9		
A	192.168.1.10		
B	192.168.1.11		
C	192.168.1.12		
D	192.168.1.13		
E	192.168.1.14		
F	192.168.1.15		

- EW-50Jの電源をONにする。  
SW1で設定したアドレス(192.168.1.1～15)で起動します。

#### お知らせ

- 設定したIPアドレスが分からなくなった場合、本設定で起動することができます。EW-50Jのロータリスイッチを0以外にしてEW-50Jを再起動させた後、初期設定ツールまたは、初期設定Webブラウザから任意のIPアドレスに設定し、EW-50Jのロータリスイッチを0に戻してからEW-50Jを再起動させることでIPアドレスを変更することができます。  
※ EW-50JのIPアドレスが分からなくならないようにIPアドレスの記載したシール貼付などの運用を推奨します。

## 7-6. 試運転の準備

グループ設定や連動設定などを終了させたいうえで試運転を行ってください。電源投入から手元リモコン操作が可能となるまで、5分程度かかる場合があります。試運転方法の詳細は、接続されている室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

## 7-7. 試運転の方法

#### 手順

- EW-50Jおよび全ユニットの電源を投入する。
- 本機の電源ランプが点灯していることを確認する。
- Webブラウザのアドレス欄に以下のWebページアドレス  
**http://(ログイン先のEW-50JのIPアドレス)/control/index.html**  
を入力する。

Webページは、パソコンのOSと同じ言語で表示されます。

以下のようにWebページアドレスを入力して他の言語でも表示できます。

中国語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?zh
英語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?en
フランス語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?fr
ドイツ語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?de
イタリア語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?it
日本語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?ja
ポルトガル語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?pt
ロシア語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?ru
スペイン語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?es
トルコ語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?tr

#### お知らせ

- 詳細については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」の「PC・タブレットからログインする」を参照してください。
- 統合管理ブラウザにログイン(初期ユーザ名: administrator、初期パスワード: admin)して、**[監視/操作]**画面を開く。
  - [監視/操作]**画面で操作したいユニットアイコンをクリックした後、**[運転]**をクリックして選択した状態で**[送信]**をクリックする。  
選択したユニットを運転状態にします。
  - [監視/操作]**画面で、アイコンが運転中になっていることを確認する。
  - 各ユニットの運転状態(室内ユニット吹き出し口からの送風など)を確認する。
  - すべてのユニットの確認が終わったら、**[監視/操作]**画面で操作したいユニットアイコンをクリックした後、**[停止]**をクリックして選択した状態で**[送信]**をクリックする。  
選択したユニットを停止状態にします。

---

## 8. お客様への説明

---

- この据付工事説明書および「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」に従って、正しい使い方をご説明ください。  
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後お客様にお渡しください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様、ゼネコン関係者様や建物の管理者様にご説明ください。  
お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

---

### 8-1. 各部のなまえ（お客様用）

「1-4. 製品の概要」を参照してください。

---

### 8-2. ご使用の前に（お客様用）

- お客様ご自身では据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「8-7. 据付工事の確認と試運転（お客様用）」の事項をお客様自身でご確認ください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。

#### 8-2-1. はじめに

EW-50Jは、液晶レスのWeb対応の空調冷熱総合管理システムです。Webブラウザから空調機を監視・操作することができます。EW-50Jそれぞれ1台につき、最大50台まで室内ユニットを接続可能です。

#### 8-2-2. ライセンスについて

必要なライセンスは、使用する機能によって異なります。必要なライセンスを販売店から購入してください。ライセンスの登録については「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

---

### 8-3. 使いかた（お客様用）

EW-50Jに接続された空調機、ロスナイ、加熱加湿ロスナイ、その他の関連機器の運転状態を、統合管理ブラウザを使用して監視・操作することができます。

監視・操作の方法については、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。

---

### 8-4. 定期点検のお願い（お客様用）

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」に連絡してください。

## 8-5. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店）、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

## 8-6. メンテナンス

### 8-6-1. 設定データバックアップ／設定データ読み込み

初期設定ツールや統合管理ブラウザ、初期設定用Webブラウザから設定した設定情報をPCに出力してバックアップを保存することができます。また、故障交換時や設定データを過去の状態に戻したいときにそれらのデータをEW-50Jへ読み込むことができます。設定データのバックアップ／読み込みは、統合管理ブラウザと初期設定用Webブラウザから実施することができます。

### 8-6-2. 統合管理ブラウザの場合

Webブラウザのアドレス欄に以下のWebページアドレス

http://(ログイン先のEW-50JのIPアドレス)/control/index.html  
を入力する。

Webページは、パソコンのOSと同じ言語で表示されます。

以下のようにWebページアドレスを入力して他の言語でも表示できます。

中国語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?zh
英語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?en
フランス語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?fr
ドイツ語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?de
イタリア語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?it
日本語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?ja
ポルトガル語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?pt
ロシア語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?ru
スペイン語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?es
トルコ語	http://(EW-50JのIPアドレス)/control/index.html?tr

画面左部にあるメニューの[メンテナンス]－[ユーティリティ]－[設定データバックアップ／読み込み]をクリックして設定データバックアップ／読み込み画面を開きます。

#### お知らせ

- 設定データバックアップ／読み込み機能は、管理者ユーザーのみ利用可能です。テナント管理者ユーザー、一般ユーザーは利用できません。

参照  
読み込むファイル  
を参照します。

データ読み込み元  
読み込むファイル  
名が表示されます。

設定データバックアップ  
EW-50Jの設定データ  
ファイルをバックアップ  
保存します。

設定データ読み込み  
「データ読み込み元」  
で表示されるファイル  
を読み込みます。

## [1] 設定データのバックアップ

### 手順

1. [設定データバックアップ]をクリックする。

設定データを作成した後、ファイルダウンロードダイアログが表示され、EW-50Jの設定データファイルをバックアップ保存することができます。

### お知らせ

- ・ 設定データの作成には、数分かかります。
- ・ 設定データのファイル名は「SettingData.dat」です。



## [2] 設定データの読み込み

### 手順

1. 設定データバックアップ/読み込み画面で、[参照] ボタンをクリックする。
2. 読み込むファイルを選択し、[開く]をクリックする。
3. [設定データ読み込み]をクリックする。設定データをEW-50Jに読み込みます。

### お知らせ

- ・ 設定データの読み込みには、数分かかります。



設定データの読み込みが終了すると、EW-50Jが再起動します。



### 8-6-3. 初期設定用 Web ブラウザの場合 (Ver.7.69 以前のみ)

メニューの [ユーティリティ] - [設定データ バックアップ/読み込み] をクリックして設定データバックアップ/読み込み画面を開きます。

#### お知らせ

- 設定データバックアップ/読み込み機能は、メンテナンスユーザーのみ利用可能です。管理者ユーザーは利用できません。

設定データバックアップ  
EW-50J の設定データ  
ファイルをバックアップ  
保存します。

参照 ...  
読み込むファイルを参照  
します。

設定データ読み込み  
「データ読み込み元」で  
表示されるファイルを  
EW-50J に読み込みます。

データ読み込み元  
読み込むファイル  
の場所が表示され  
ます。

## [1] 設定データのバックアップ

### 手順

1. [設定データバックアップ] をクリックする。

設定データを作成した後、ファイルダウンロードダイアログが表示され、EW-50Jの設定データファイルをバックアップ保存することができます。

### お知らせ

- 設定データの作成には、数分かかります。
- 設定データのファイル名は「SettingData.dat」です。



## [2] 設定データの読み込み

### 手順

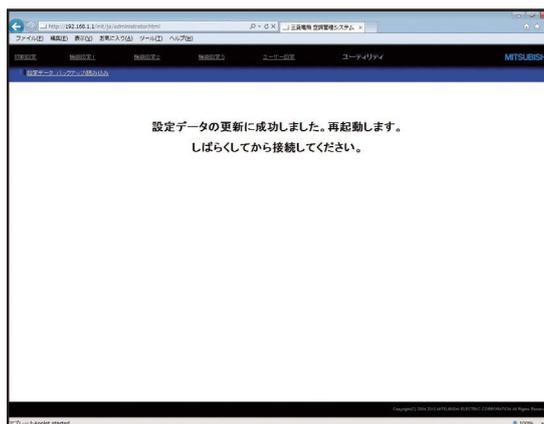
1. 設定データバックアップ/読み込み画面で、[参照...] ボタンをクリックする。
2. 読み込むファイルを選択し、[開く] をクリックする。
3. [設定データ読み込み] をクリックする。設定データをEW-50Jに読み込みます。

### お知らせ

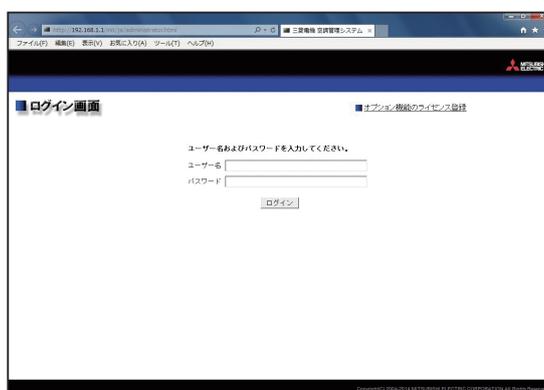
- 設定データの読み込みには、数分かかります。



設定データの読み込みが終了すると、EW-50Jが再起動します。



4. ログイン画面に戻り、再度ログインする。



## 8-7. 据付工事の確認と試運転（お客様用）

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
• 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
• 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
• 試運転に立ち会いましたか。	
• 「6. 据付工事後の確認」のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

## 8-8. 仕様（お客様用）

「1-4-2. 製品仕様」を参照してください。

## 8-9. 修理を依頼する前に（お客様用）

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてください。故障の状況と統合管理Webブラウザに表示された英数字（異常コード）を、お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。

現象		原因の確認	処置方法
1	スケジュール設定をした日時に機器が起動しない。	操作画面の「スケジュール」が <b>【無効】</b> になっている。	<b>【有効】</b> に変更してください。
		当日スケジュールなど、優先度の高いスケジュール設定と重複している。	スケジュールの優先度は、高い方から当日スケジュール、年間スケジュール、週間スケジュール1、・・・、週間スケジュール5の順になります。
2	手元リモコンが操作禁止にならない。	MEリモコンをAE-200J/AE-50J/EW-50Jのグループに登録していない。	MEリモコンがEW-50Jにグループ登録されているかを確認し、未登録の場合は登録してください。登録方法は「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照ください。
3	初期設定画面にログインしたが、設定ボタンが押した状態になっていて、操作できない。	1) ビル管理者でログインしているので、設定の権限がない。	原因1) 保守ユーザのログイン名・パスワードを入力してログインしてください。 管理者ユーザーでログインして設定を行いたい場合は、設定の権限を保守ユーザーに変更してもらってください。
4	停止したはずなのに、勝手に空調機が運転している。	以下の設定により、自動で運転される場合があります。 1) ナイトセットバック機能が設定されている。 2) スケジュール設定 3) 連動制御	原因1) ナイトセットバック機能が <b>【利用する】</b> に設定されている場合、空調機が停止中に設定した条件となった場合、自動的に空調機が暖房または冷房で運転します。ナイトセットバックにより運転している場合は、アイコン表示が変わります。 原因2) スケジュール設定により、自動で運転する場合があります。当日、週間、年間それぞれのスケジュールを確認してください。 原因3) 連動制御により、運転する場合があります。
5	停止したはずなのに、勝手にロスナイが運転している。	以下の設定により、自動で運転される場合があります。 1) ロスナイにナイトパーズ設定がされている。 2) スケジュール設定 3) 連動ロスナイ設定 4) 連動制御	原因1) ロスナイのナイトパーズ設定が設定されている場合、ロスナイに設定した内容によって、自動的に外気を取り込む運転を行います。 原因2) スケジュール設定により、自動で運転する場合があります。当日、週間、年間それぞれのスケジュールを確認してください。 原因3) 室内機の運転に連動してロスナイが運転する場合があります。 原因4) 連動制御により、温度が変化する場合があります。
6	監視画面で室内温度が表示されない。	温度表示設定により、表示される温度が変わります。	温度表示設定を確認してください。 <b>【表示しない】</b> の設定になっている場合、または <b>【室内温度運転中表示】</b> の設定になっている場合で空調機が停止しているときは表示されません。
7	統合管理Webにログインできない。	初期設定ツールの統合管理Webフロア階層設定の「管理する」にチェックが入っていない。	初期設定ツールの <b>【フロア設定】</b> - <b>【統合管理Webフロア階層設定】</b> にて、対象の集中コントローラの「管理する」にチェックを入れて設定してください。なお、既に初期設定済みの場合、初期設定ツールでは、まずはじめにモニタを実施のうえ、設定変更してください。またはソフトウェアを最新バージョンにしてください。

## 8-10. 保証とアフターサービス (お客様用)

### 8-10-1. 保証について

- 保証書は室外ユニットに添付しています。室外ユニットの保証書でセットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・コントローラを保証します。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日 (据付日または試運転完了日)・販売店名 (工事店名)」などの記入をお確かめのうえ、販売店 (工事店) からお受け取りください。  
保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日 (据付日または試運転完了日) から1年です。
- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

### 8-10-2. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 8-10-3. 修理を依頼される時は(出張修理)

- 「8-9. 修理を依頼する前に (お客様用)」の項にしたがってお調べください。  
なお、不具合があるときは、ご使用を中止し、必ず配線用遮断器 (ブレーカー) を切 (OFF) にしてから、お買い上げの販売店 (工事店・サービス店) にご連絡ください。
- 保証期間中は保証書の規程にしたがって、販売店 (工事店・サービス店) が修理させていただきます。なお、修理に際しまして、保証書をご提示ください。
- 離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては、販売店 (工事店・サービス店) にご相談ください。点検・診断のみでも有料となることがあります。  
ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する費用 (出張料) や有料駐車場の費用 (駐車料) を別途いただく場合があります。

- 機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
- ご連絡いただきたい内容

品名	据付工事説明書の表紙に記載
形名	据付工事説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日：       年   月   日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 8-10-4. お問い合わせ

- ・ ご不明な点は、まずお買い上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。  
お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご依頼できない場合は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）へお問い合わせください。  
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。）

### お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

## 8-11. 環境関連の表示（お客様用）

この空調冷熱総合管理システムは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

## 8-12. 商標、登録商標について



SDおよびSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

- BACnet<sup>®</sup>は、米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。
- Microsoftは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OracleおよびJavaは、米国 Oracle Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerの正式名称は、Microsoft<sup>®</sup> Internet Explorer Internet browserです。
- Microsoft Edgeは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Office Excelは、米国 Microsoft Corporationの商品名称です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> Operating Systemです。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

## 9. 法令関連の表示

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

### 9-1. 標準的な使用条件

#### 9-1-1. 使用範囲

下記の環境条件で使用してください。

項目		仕様
環境条件	使用温度範囲	-10 ~ + 55℃
	保存温度範囲	-20 ~ + 60℃
	湿度	30 ~ 90%RH (結露がないこと)

#### 9-1-2. 使用条件・環境



以下の特殊な環境にコントローラを据え付けないこと。

◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ

◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ

◆電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災のおそれあり。



据付禁止

下記の項目に適合する環境で使用することは避けてください。使用する場合は「保守周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合
- ・ 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所で使用する場合（許容範囲外での使用はできません。）
- ・ 振動、衝撃が多い場所で使用する場合
- ・ ほこり、塩分など良くない雰囲気を使用する場合

### 9-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安

主要部品名	交換周期
製品本体	10年

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ 交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計保守点検費用の予算化のためにお役立てください。
- ・ 交換周期は、保証期間ではありません。
- ・ 上表は、通常の使用状態の場合であり、下記の項目に適合する場合は「保守周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- ② 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所で使用する場合。
- ③ 振動、衝撃が多い場所で使用する場合。
- ④ ほこり、塩分など良くない環境で使用する場合。

---

# MEMO

---

## 愛情点検

●長年ご使用の空調冷熱総合管理システムの点検を！



こんな症状は  
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用  
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

### 三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

## 三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)  
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2018年10月作成

WT07934X06